

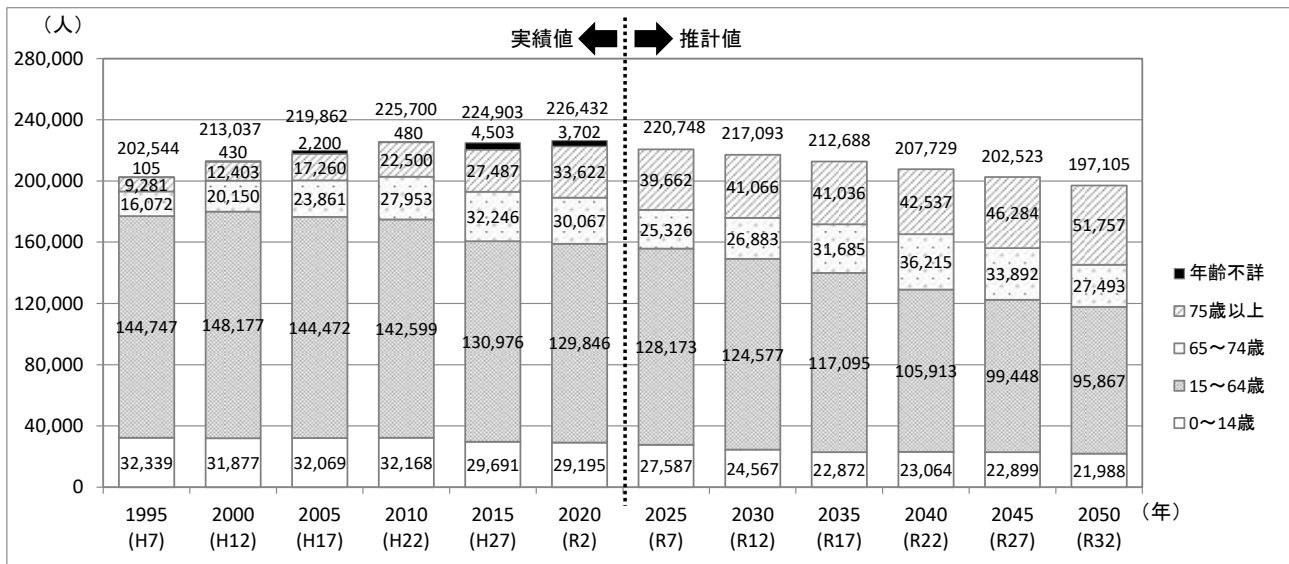
宝塚市の統計情報 (子ども・子育て関連等)

(1)人口・世帯等

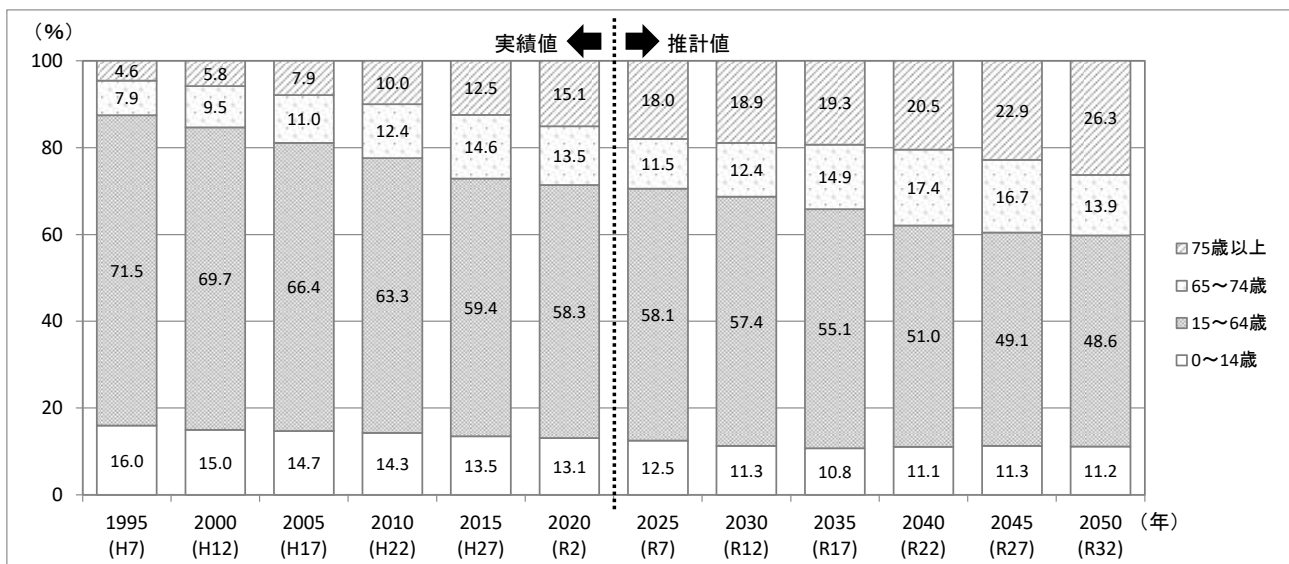
①人口

- 宝塚市の令和 2 年の総人口は 226,432 人で、平成 27 年から 1,529 人増となっていますが、令和 7 年度以降は減少していく推計となっています。
- 年齢区分別人口比は、0～14 歳と 15～64 歳の割合が減少傾向にあります。

◆人口の推移◆



◆年齢区分別人口構成比の推移◆



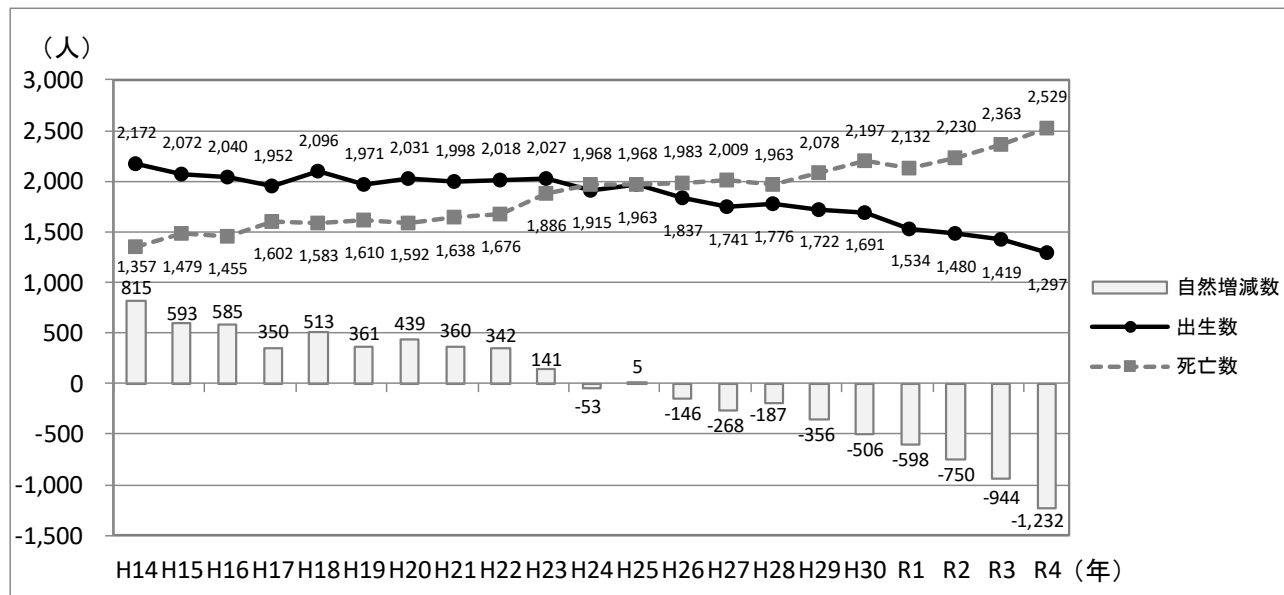
注：2020 年までは国勢調査の実績値、2025～2050 年までは国立社会保障・人口問題研究所が公表している推計値(出生中位・死亡中位仮定)。1995～2020 年の人口構成比は年齢不詳を除いて算出。

資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和 5 年 12 月推計)

②自然動態

- 自然動態では、平成 23 年までは自然増で推移していましたが、平成 24 年にはマイナスとなり、自然減が進んでいます。
- 令和 2 年の宝塚市の合計特殊出生率は 1.37 で、周辺自治体 7 市中 4 番目となっています。

◆自然動態の推移◆



注：住民基本台帳に基づく自然増減。

資料：宝塚市統計書(各年 1 月 1 日～12 月 31 日)

◆合計特殊出生率の推移【他市比較】◆

	S60 年	H2 年	H7 年	H12 年	H17 年	H22 年	H27 年	R2 年
宝塚市	1.62	1.37	1.30	1.34	1.17	1.34	1.44	1.37
伊丹市	1.75	1.63	1.50	1.50	1.39	1.63	1.57	1.56
川西市	1.51	1.22	1.09	1.20	1.12	1.30	1.36	1.29
三田市	1.71	1.55	1.56	1.38	1.08	1.24	1.27	1.13
尼崎市	1.64	1.45	1.36	1.37	1.27	1.51	1.52	1.51
西宮市	1.57	1.36	1.24	1.31	1.20	1.34	1.49	1.39
芦屋市	1.51	1.28	1.08	1.24	1.14	1.32	1.34	1.31

注：合計特殊出生率＝{年間の母の年齢別出生数÷年齢別女子人口}15～49 歳までの総和

年間の母の年齢別出生数：各年 1 月 1 日～12 月 31 日の出生数。

分母となる年齢別女子人口：国勢調査による各年 10 月 1 日現在の人口。(昭和 60～平成 7 年は総人口(外国人を含む)、平成 12 年は日本人人口(不詳を除く)、平成 17～22 年は年齢・国籍不詳をあん分した日本人人口(兵庫県情報事務センターであん分)、平成 27 年は年齢・国籍不詳をあん分した人口(参考表)の日本人人口(国であん分))、令和 2 年度は国勢調査に関する不詳補完結果の日本人人口。

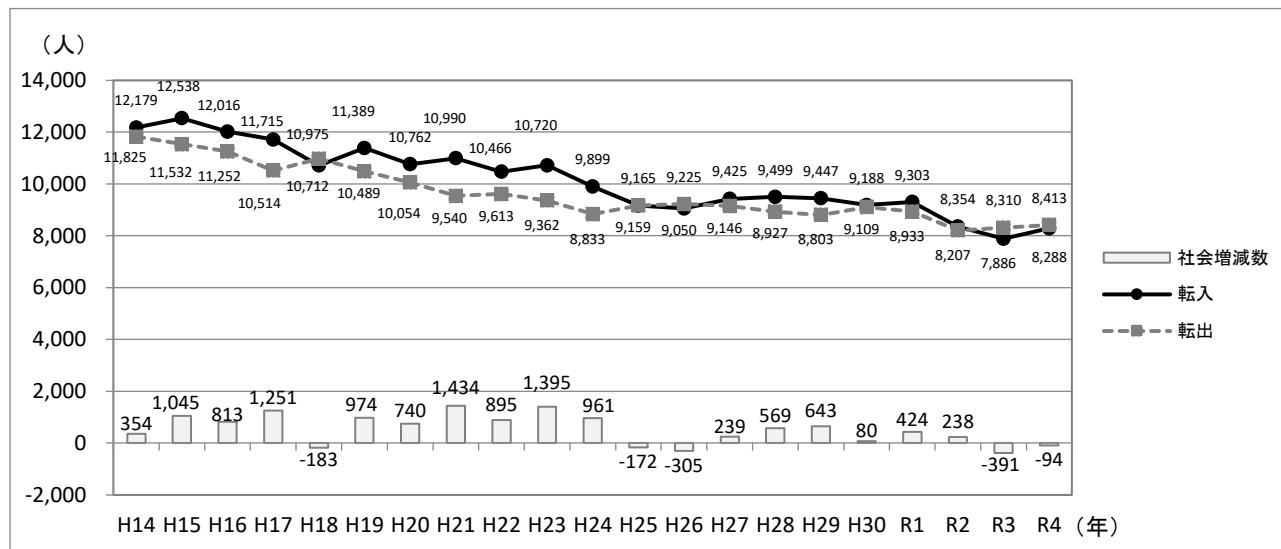
資料：兵庫県「保健統計年報」

※合計特殊出生率：一人の女性が出産可能とされる 15 歳から 49 歳までに産む子どもの数の平均を示す。

③社会動態

- 社会動態では、令和 2 年まで概ね社会増で推移していましたが、転入数は減少傾向にあり、令和 4 年は社会減になっています。
- 令和 4 年の転入前居住地、転出後居住地をみると、県外では関東地方への転出超過が多い状況にあります。また、県内では主に西宮市からの転入超過、伊丹市、川西市への転出超過となっています。

◆社会動態の推移◆



注：住民基本台帳に基づく社会増減。社会増減数には、転入・転出以外の増減要因であるその他増減（職種記載・削除、転出取り消しなど）が含まれています。

資料：宝塚市統計書（各年 1 月 1 日～12 月 31 日）

◆転入前居住地、転出後居住地（令和 4 年）◆

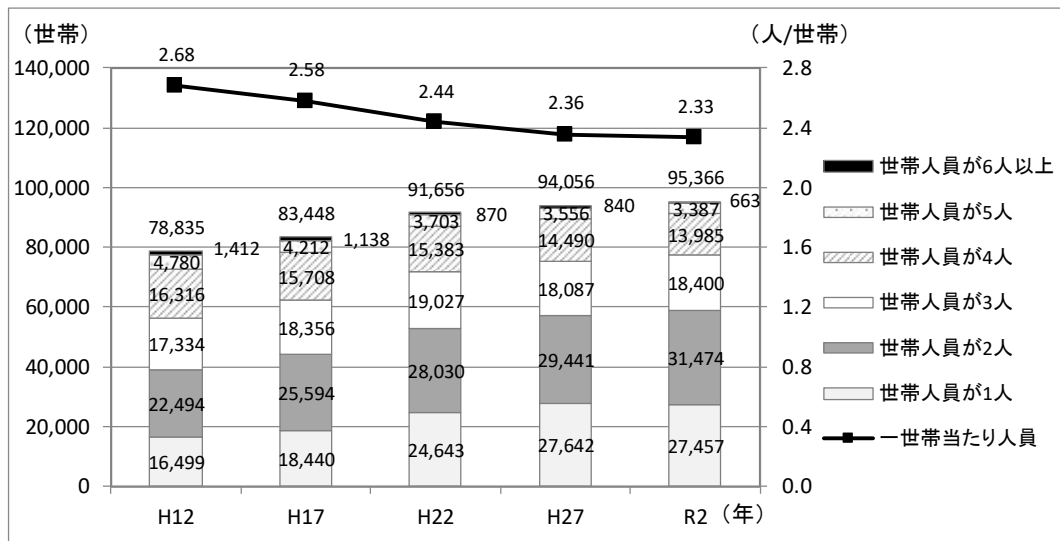
転入前居住地		転入数(人)	転出後居住地		転出数(人)
県内	西宮市	920	県内	西宮市	654
	神戸市	562		神戸市	558
	尼崎市	434		尼崎市	447
	伊丹市	403		伊丹市	521
	川西市	318		川西市	495
	三田市	145		三田市	119
	芦屋市	48		芦屋市	71
	その他の兵庫県	583		その他の兵庫県	597
	県内計	3,413		県内計	3,462
県外	大阪府	1,644	県外	大阪府	1,728
	関東地方	875		関東地方	1,223
	東京都	395		東京都	630
	神奈川県	220		神奈川県	273
	埼玉県	113		埼玉県	145
	千葉県	86		千葉県	117
	その他	61		その他	58
	近畿地方（兵庫県・大阪府を除く）	438		近畿地方（兵庫県・大阪府を除く）	409
	中国・四国地方	359		中国・四国地方	356
	東海地方	331		東海地方	307
	九州・沖縄地方	299		九州・沖縄地方	256
	甲信越・北陸地方	115		甲信越・北陸地方	84
	北海道・東北地方	99		北海道・東北地方	118
	国外・その他	920		国外・その他	579
	県外計	5,080		県外計	5,060
総数		8,493	総数		8,522

資料：宝塚市統計書（令和 4 年 1 月 1 日～12 月 31 日）

④世帯

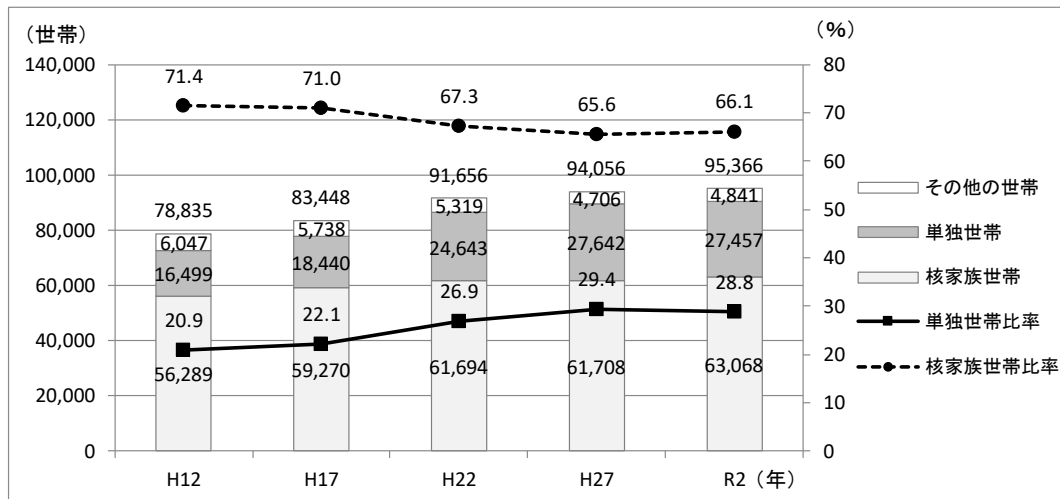
- 一般世帯数は増加傾向にありますが、一世帯当たり人員数は減少傾向にあります。
- 核家族世帯、単独世帯が増加傾向にあります。

◆一般世帯数の推移◆



資料:国勢調査(各年10月1日現在)

◆一般世帯の家族類型別世帯数の推移◆



資料:国勢調査(各年10月1日現在)

※単独世帯:世帯人員が一人の世帯をいう。

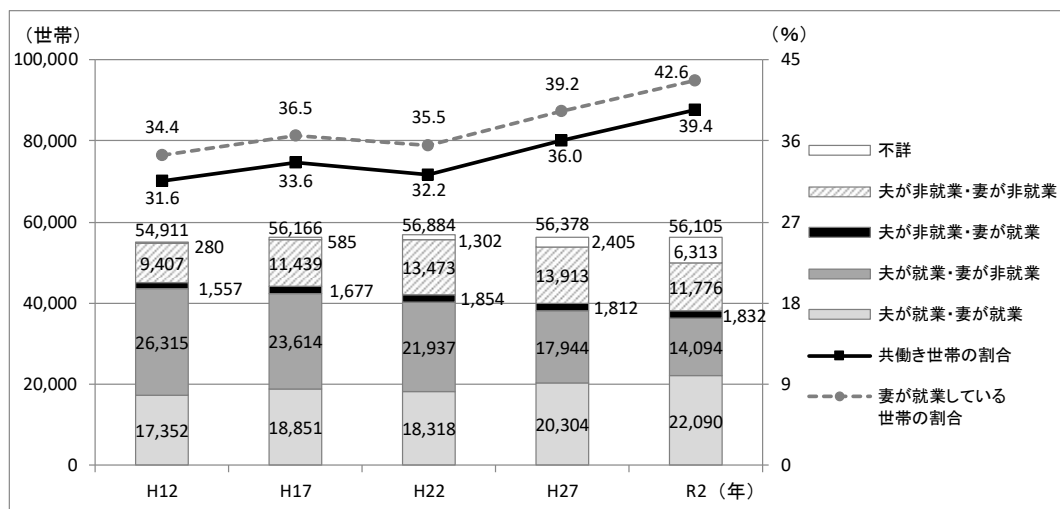
※一般世帯:一般世帯とは、次のものをいう。(1)住居と生計を共にしている人々の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者。ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住み込みの雇人については、人数に関係なく雇主の世帯に含めている。(2)上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者。(3)会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している単身者。

※核家族世帯:世帯構造の分類の一つで、夫婦のみの世帯、夫婦と未婚の子のみの世帯、ひとり親と未婚の子のみの世帯の3つをいう。

※その他の世帯:一般世帯は世帯員の世帯主との続柄により、「親族のみの世帯」、「非親族を含む世帯」、「単独世帯」、「世帯の家族類型不詳」に区分される。このうち、「親族のみの世帯」については、「核家族世帯」、「核家族以外の世帯(「夫婦と両親から成る世帯」、「夫婦とひとり親から成る世帯」、「夫婦、子どもと両親から成る世帯」、「夫婦、子どもとひとり親から成る世帯」、「夫婦と他の親族(親、子どもを含まない)から成る世帯」、「夫婦、子どもと他の親族(親を含まない)から成る世帯」、「夫婦、親と他の親族(子どもを含まない)から成る世帯」、「夫婦、子ども、親と他の親族から成る世帯」、「兄弟姉妹のみから成る世帯」、「他に分類されない世帯」)に区分される。ここでのその他の世帯とは、「親族のみの世帯」のうち「核家族以外の世帯」、「非親族を含む世帯」、「世帯の家族類型不詳」の合計である。

- 共働き世帯の割合、妻が就業している世帯の割合は、平成 22 年まで横ばいでしたが、平成 27 年以降は増加傾向にあります。

◆夫婦のいる一般世帯における妻の就業状況の推移◆



資料:国勢調査(各年 10 月 1 日現在)

⑤未婚の状況

- 令和 2 年は 25～29 歳の男女ともに約 7 割が未婚となっています。また、平成 12 年に比べると、全ての年齢層で未婚率が上がっています。

◆未婚率の推移◆

	男性(%)					女性(%)				
	H12 年	H17 年	H22 年	H27 年	R2 年	H12 年	H17 年	H22 年	H27 年	R2 年
25～29 歳	66.8	70.2	71.4	71.5	71.0	55.6	62.3	66.2	68.0	68.2
30～34 歳	33.6	39.1	42.6	40.7	38.8	25.3	30.4	34.7	36.5	34.1
35～39 歳	18.4	21.6	29.2	28.1	26.0	15.2	17.9	21.9	23.6	22.5
40～44 歳	11.4	14.6	21.3	22.5	21.8	10.2	13.2	16.8	18.3	18.5
45 歳以上	3.7	4.6	7.0	7.6	9.6	5.0	5.7	7.1	7.9	9.2
15 歳以上	27.9	26.2	26.9	25.4	25.8	25.5	24.1	23.9	23.5	23.9

注:国勢調査では「15 歳以上人口に占める未婚者数の割合」を全体(総数)の未婚率としている。

資料:国勢調査(各年 10 月 1 日現在)

- 15 歳以上の未婚率について、宝塚市は、男性が周辺自治体 12 市中 11 番目、女性が 12 市中 9 番目となっています。

◆未婚率の状況【他市比較】(令和 2 年)◆

	男性(%)					
	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45 歳以上	15 歳以上
宝塚市	71.0	38.8	26.0	21.8	9.6	25.8
伊丹市	69.0	39.9	28.6	25.6	12.4	30.6
川西市	72.9	43.3	30.4	25.0	10.6	26.9
三田市	80.4	50.3	32.5	22.8	7.8	28.2
尼崎市	68.1	43.4	34.1	32.9	17.9	33.5
西宮市	69.7	39.6	26.7	22.3	11.6	29.7
芦屋市	75.8	43.4	28.2	20.9	9.1	25.6
豊中市	66.9	37.3	25.5	22.9	13.3	29.6
池田市	73.5	44.8	32.8	25.8	12.4	33.1
吹田市	71.1	38.1	24.4	21.4	11.8	30.4
茨木市	69.2	39.2	27.4	23.3	12.8	31.2
箕面市	78.7	40.4	25.6	20.1	9.4	29.6

	女性(%)					
	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45 歳以上	15 歳以上
宝塚市	68.2	34.1	22.5	18.5	9.2	23.9
伊丹市	58.3	29.0	21.4	17.9	8.3	23.7
川西市	68.7	34.8	23.8	20.2	7.8	22.2
三田市	73.9	39.2	25.0	17.0	5.0	23.1
尼崎市	60.4	36.0	26.3	24.5	11.6	25.9
西宮市	64.6	34.8	23.1	19.0	10.3	26.5
芦屋市	71.9	39.6	25.0	18.7	11.2	24.1
豊中市	59.9	30.7	21.1	19.0	10.6	24.9
池田市	64.7	35.9	22.8	20.7	10.1	26.1
吹田市	65.1	32.5	20.8	17.8	10.0	26.3
茨木市	62.3	32.4	21.6	18.4	8.9	25.6
箕面市	70.3	34.2	19.7	16.2	8.1	24.3

資料:国勢調査(令和 2 年 10 月 1 日現在)

(2)財政

①財政見通し

- 歳入の根幹である市税収入は伸びが見込めず、歳出では社会保障関連経費や建物施設、新ごみ処理施設建設に係る費用の増加が見込まれています。令和15年には約112.8億円の収支不足累計額が見込まれています。

◆財政見通し◆

(単位:百万円)

区 分	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)	令和13年度 (2031年度)	令和14年度 (2032年度)	令和15年度 (2033年度)
A 市 税	35,199	36,624	36,904	36,708	36,908	37,108	36,889	37,080	37,276	37,064
B 地 方 譲 与 税 ・ 交 付 金	8,061	6,998	6,998	6,998	6,998	6,998	6,998	6,998	6,998	6,998
C 地 方 交 付 税 等	8,395	8,557	8,687	9,184	9,415	9,796	10,268	10,535	11,112	11,716
普 通 交 付 税	7,542	7,693	7,815	8,279	8,494	8,852	9,293	9,544	10,106	10,670
特 別 交 付 税	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320
臨 時 財 政 対 策 債	533	544	552	585	600	624	655	671	686	726
D そ の 他 の 収 入	2,761	2,038	1,809	1,950	2,073	2,072	2,072	2,061	2,061	1,975
繰 入 金	1,025	1	1	1	1	1	1	1	1	1
繰 越 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寄 附 金	815	815	815	815	815	815	815	815	815	815
そ の 他 の 収 入	921	1,222	993	1,134	1,256	1,255	1,256	1,245	1,245	1,159
E 歳 入 計 (A + B + C + D)	54,416	54,217	54,398	54,840	55,393	55,974	56,227	56,674	57,447	57,753
F 義 務 的 経 費 (G + H + I)	30,668	30,969	31,187	31,136	31,383	31,384	31,485	31,600	31,623	31,674
G 人 件 費	16,198	16,234	16,313	16,328	16,297	16,243	16,254	16,231	16,188	16,205
H 扶 助 費	7,742	8,104	8,126	8,148	8,170	8,192	8,215	8,238	8,261	8,284
I 公 債 費	6,728	6,631	6,748	6,660	6,916	6,949	7,016	7,131	7,174	7,185
J そ の 他 の 経 費 (K+L+M+N+O+P)	22,942	25,115	24,596	24,637	24,165	25,030	24,904	24,794	25,152	24,900
K 物 件 費	9,013	9,627	9,026	9,101	8,996	9,143	9,056	9,210	9,137	9,063
L 補 助 費 等	5,228	5,154	5,216	5,258	5,083	5,065	5,036	5,200	5,583	5,570
企 業 会 計 補 助 金	2,874	2,801	2,866	2,883	2,734	2,712	2,686	2,824	3,234	3,220
そ の 他 の 補 助 費 等	2,354	2,353	2,350	2,375	2,350	2,353	2,350	2,376	2,350	2,350
M 維 持 補 修 費	507	507	507	507	507	507	507	507	507	507
N 積 立 金	593	1,991	1,873	1,638	1,285	1,855	1,713	1,145	1,047	735
うち公共施設等整備保全基金	164	752	752	752	750	694	666	610	200	200
うち市債管理基金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち新ごみ処理施設建設基金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
O 繰 出 金	7,599	7,835	7,973	8,131	8,293	8,459	8,592	8,732	8,877	9,024
P そ の 他	2	0	0	2	1	0	0	0	0	1
Q 投 資 的 経 費	2,686	2,712	2,784	2,948	2,355	2,463	2,883	2,379	2,522	2,255
つ ち 建 物 施 設	1,316	1,197	1,197	1,197	1,362	1,362	1,362	1,362	1,362	1,362
う ち イ ン フ ラ 施 設	505	505	505	505	505	505	505	505	505	505
う ち 新 ご み 処 理 施 設	153	380	609	773	89	202	625	122	265	0
そ の 他 投 資 的 経 費	712	629	473	473	399	394	391	390	390	388
R 歳 出 計 (F + J + Q)	56,296	58,796	58,567	58,721	57,903	58,877	59,272	58,773	59,297	58,829
S 歳 入 歳 出 差 引 (E - R)	▲1,880	▲4,579	▲4,169	▲3,881	▲2,510	▲2,903	▲3,045	▲2,099	▲1,850	▲1,076
T 決 算 不 用 額 等 見 込 み	1,671	1,671	1,671	1,671	1,671	1,671	1,671	1,671	1,671	1,671
U 決 算 時 歳 入 歳 出 差 引 (S + T)	▲209	▲2,908	▲2,498	▲2,210	▲839	▲1,232	▲1,374	▲428	▲179	595
V 令 和 6 年 度 以 降 収 支 累 計 額	▲209	▲3,117	▲5,615	▲7,825	▲8,664	▲9,896	▲11,270	▲11,698	▲11,876	▲11,281

※新ごみ処理施設建設に係る経費を算入しています。

※宝塚市立病院の老朽化対応工事に係る経費、建て替えに係る経費（試算）を算入しています。

資料:宝塚市財政見通し(令和6年3月作成)

人件費:議員報酬や職員給与、行政委員会の委員報酬及び会計年度任用職員報酬等の支出です。

扶助費:障害(がい)福祉サービス費や子育て支援関連など社会保障経費の支出で、対象者数が増加傾向であることから、今後も増加すると見込んでいます。

公債費:地方債(借入金)返済のための支出であり、過去の発行状況や今後の工事費などの増加に伴い、増加すると見込んでいます。

※上記3つの経費は義務的経費です

物件費:委託料や光熱水費等の支出です。

操出金:国民健康保険事業や介護保険事業などの特別会計へ支出するものです。

投資的経費:工事等の支出です。建物施設・インフラ施設の維持更新に必要な経費などを見込んでいます。

企業会計補助金:病院事業会計と上下水道事業会計などに対する補助金です。

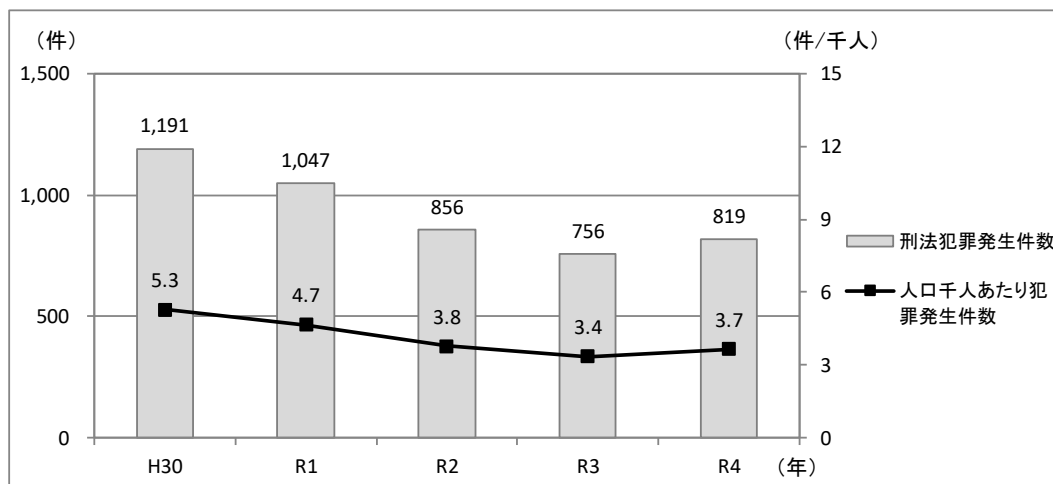
その他:維持補修費、積立金、企業会計補助金以外の補助金等の支出合計です。

(3)防犯・交通安全

①防犯

- 刑法犯罪発生件数は、令和 3 年まで減少傾向にありましたが、令和 4 年は増加しています。
- 少年犯罪及びぐ犯行為は減少傾向にあります。

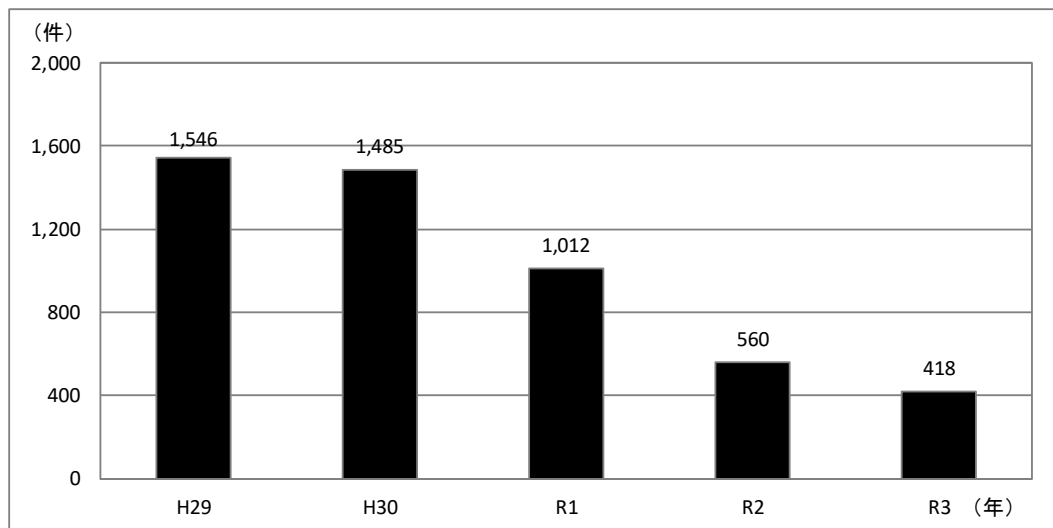
◆刑法犯罪発生件数の推移◆



注：人口千人あたり犯罪発生件数の算出には、各年 10 月 1 日現在の推計人口(宝塚市統計書、ただし令和 2 年は国勢調査人口)を使用。

資料：宝塚市統計書(各年 1 月 1 日～12 月 31 日)

◆少年犯罪及びぐ犯行為の推移◆



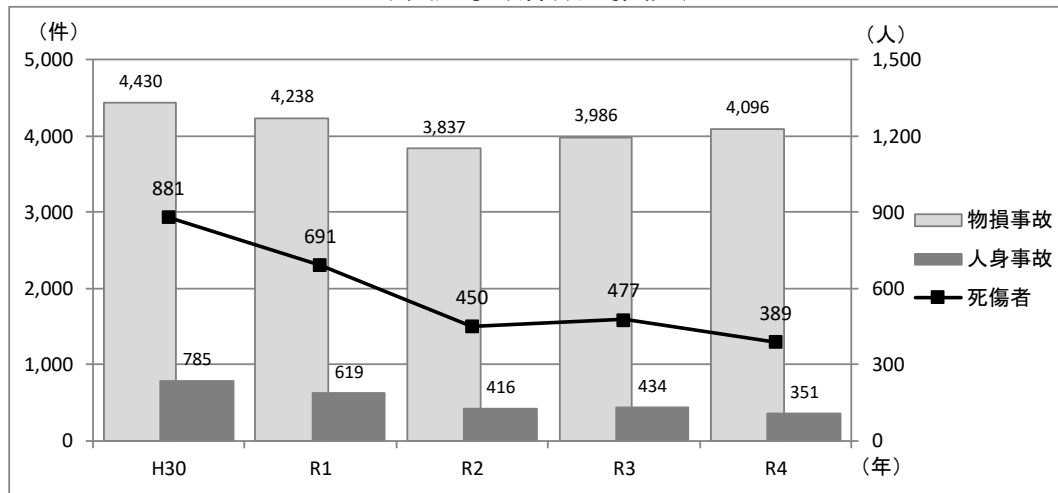
資料：宝塚市統計書(各年 1 月 1 日～12 月 31 日)

※ぐ犯行為：度重なる家出や深夜はいかい、暴走族や暴力団関係者など不道德な人との交際、いかがわしい場所への出入り、性的逸脱など、将来刑罰法令に触れる行為を行うおそれがある問題行動のこと。

②交通事故の状況

- 人身事故と死傷者数は概ね減少傾向にあります。

◆交通事故件数の推移◆



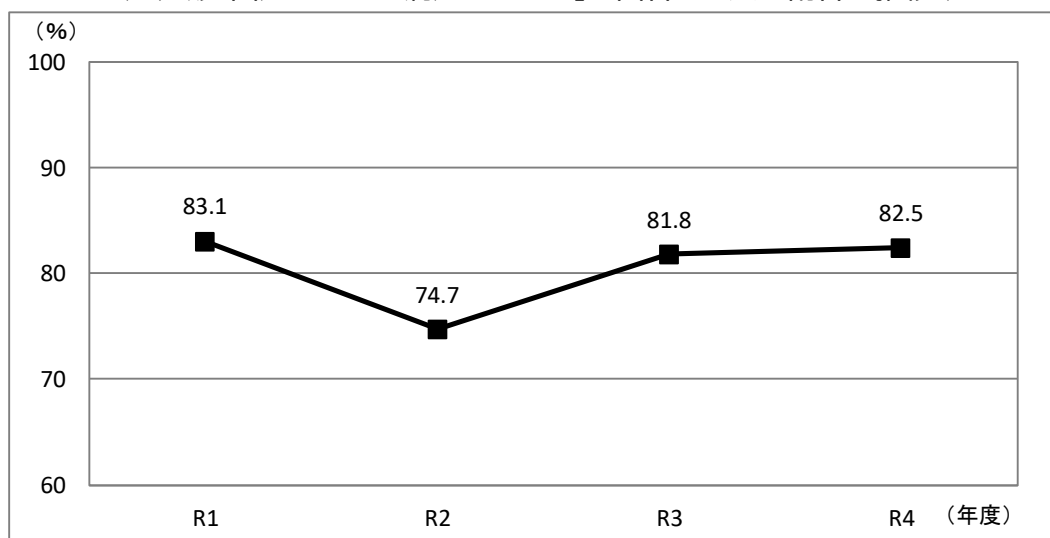
資料：兵庫県警察「市区町別・類型別道路別発生状況」、
兵庫県警察「警察署別物損事故発生状況」(各年1月1日～12月31日)

(4)健康・保健

①出産・子育て

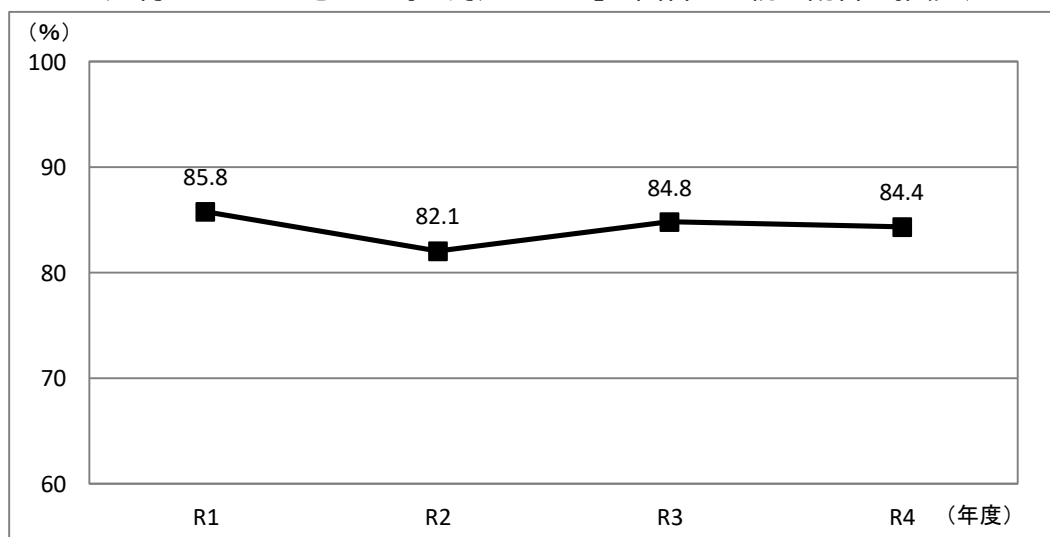
- 「妊娠・出産について満足している」と回答した人の割合は、80%付近で推移しています。
- 「育てにくさを感じた時に対処できる」と回答した親の割合は、84%付近で推移しています。

◆「妊娠・出産について満足している」と回答した人の割合の推移◆



資料:宝塚市「健やか親子 21 問診調査」

◆「育てにくさを感じた時に対処できる」と回答した親の割合の推移◆

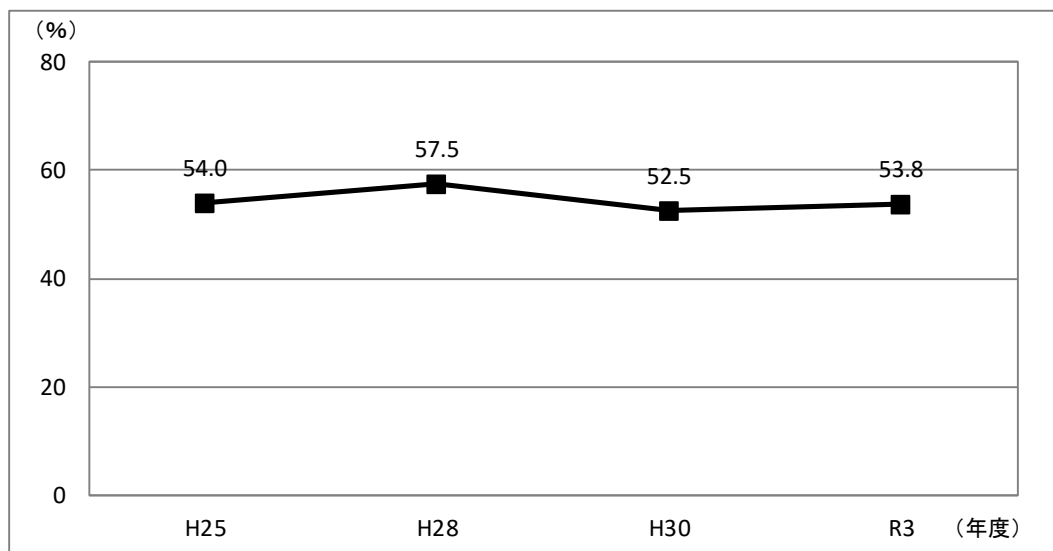


資料:宝塚市「健やか親子 21 問診調査」

②健康

- 「意識的に健康づくりに取り組んでいる」と回答した市民の割合は、令和 3 年度で 53.8%となっており、平成 25 年度と同程度の割合となっています。

◆「意識的に健康づくりに取り組んでいる」と回答した市民の割合の推移◆



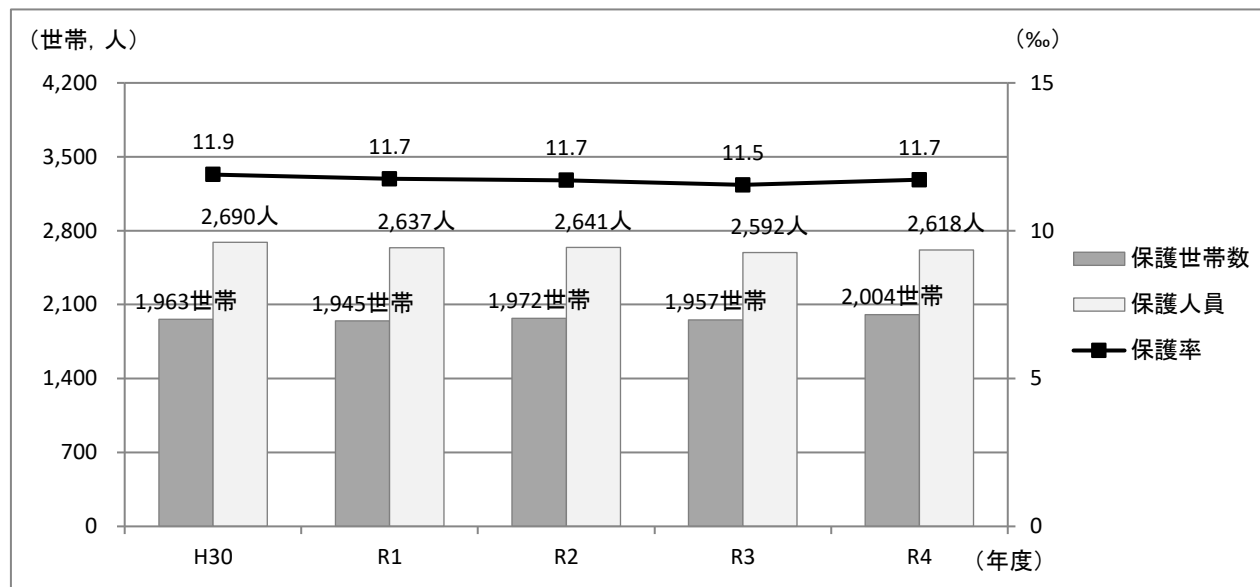
資料：宝塚市「市民アンケート調査報告書」

(5)生活保護

①生活保護

- 生活保護世帯数、保護人員、保護率ともに、概ね横ばいで推移しています。

◆生活保護の推移◆



注：保護率は人口千人に対する保護人員の割合。

保護率の算出には、各年 4 月 1 日現在の推計人口(宝塚市「月別推計世帯数・人口表(各月1日現在)」)を使用。

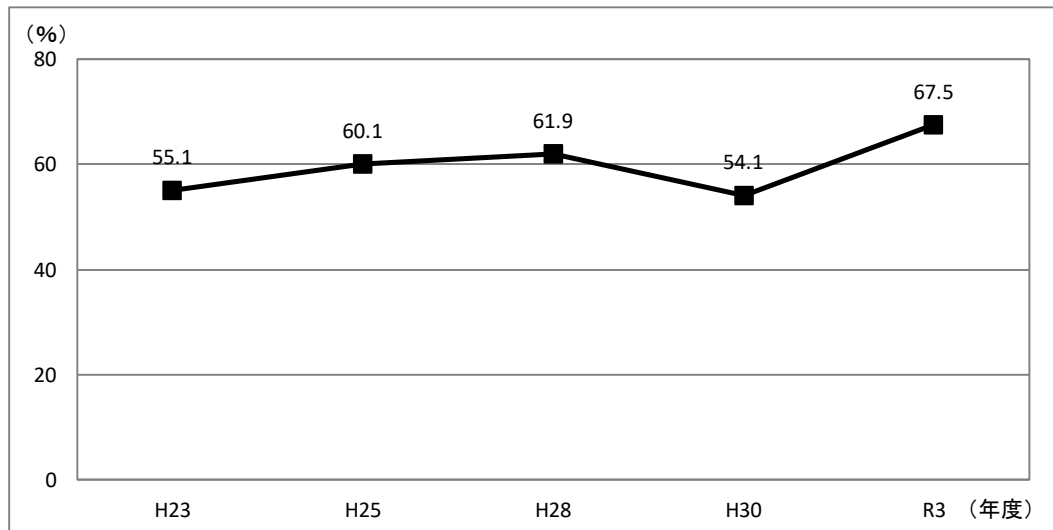
資料：宝塚市(各年度 3 月末現在)

(6)人権・男女共同参画

①人権

- 「日々の生活において、人権が尊重されていると思う」と回答した市民の割合は、概ね増加傾向にあります。

◆「日々の生活において、人権が尊重されていると思う」と回答した市民の割合の推移◆

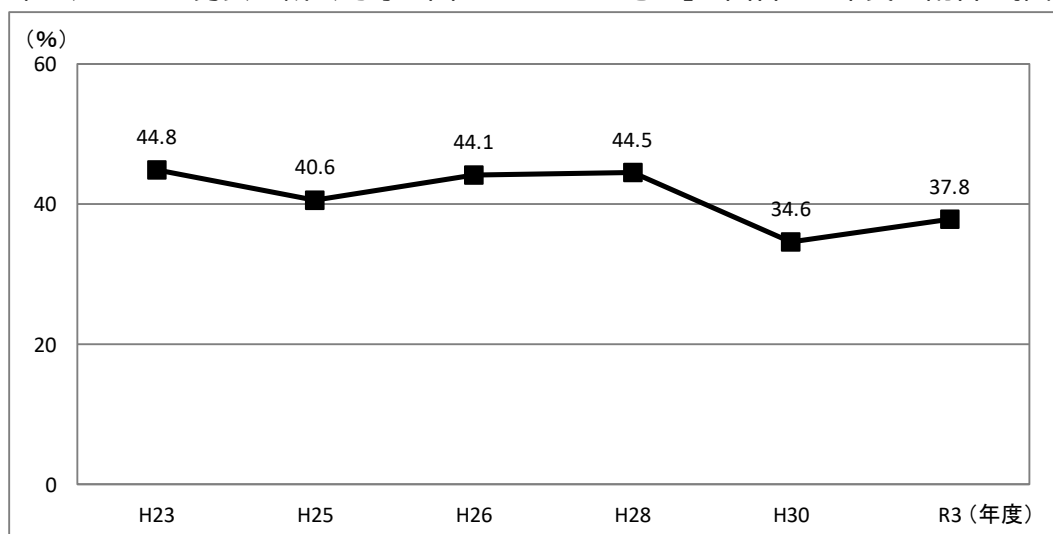


資料:宝塚市「市民アンケート調査報告書」

②男女共同参画

- 「社会において、男女の機会均等が図られていると思う」と回答した市民の割合は、平成 28 年度までは概ね横ばいで推移し、平成 30 年度は低い割合となりましたが、令和 3 年度は増加に転じています。

◆「社会において男女の機会均等が図られていると思う」と回答した市民の割合の推移◆



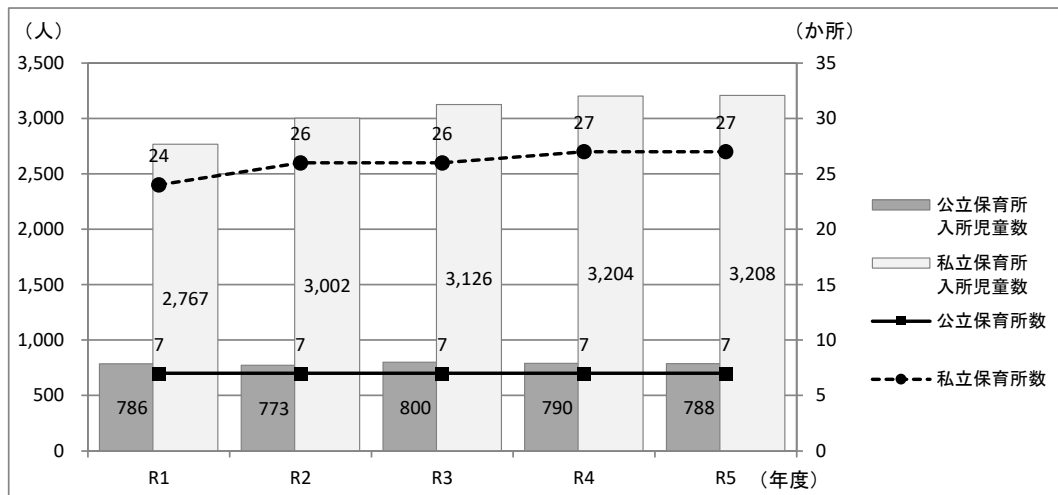
資料:宝塚市「市民アンケート調査報告書」

(7)児童福祉

①保育所

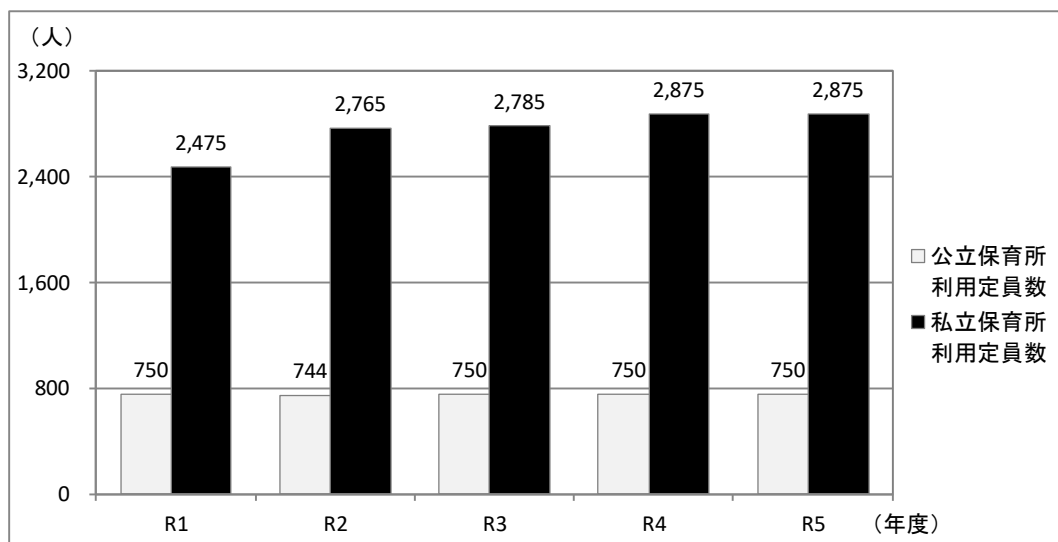
- 令和 5 年の保育所数は公立が 7 か所、私立が 27 か所(分園含む)となっており、入所児童数では公立は横ばいで、私立は微増で推移しています。
- 保育所利用定員数は、公立は概ね横ばいで、私立は概ね微増で推移しています。

◆保育所と入所児童の推移◆



資料:宝塚市(各年度 10 月 1 日現在)

◆保育所利用定員数の推移◆

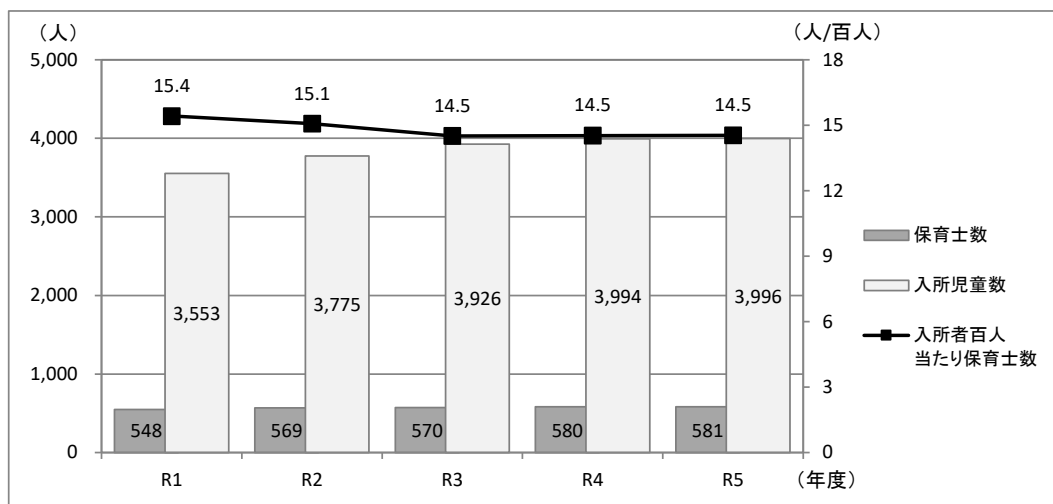


資料:宝塚市(各年度 10 月 1 日現在)

※保育所の他に認定こども園と小規模保育事業所もあります。

- 保育士数は増加傾向にあります、入所者百人当たり保育士数は、令和 3 年度まで減少傾向で、それ以降は横ばいで推移しています。

◆保育士数と入所児童の推移◆

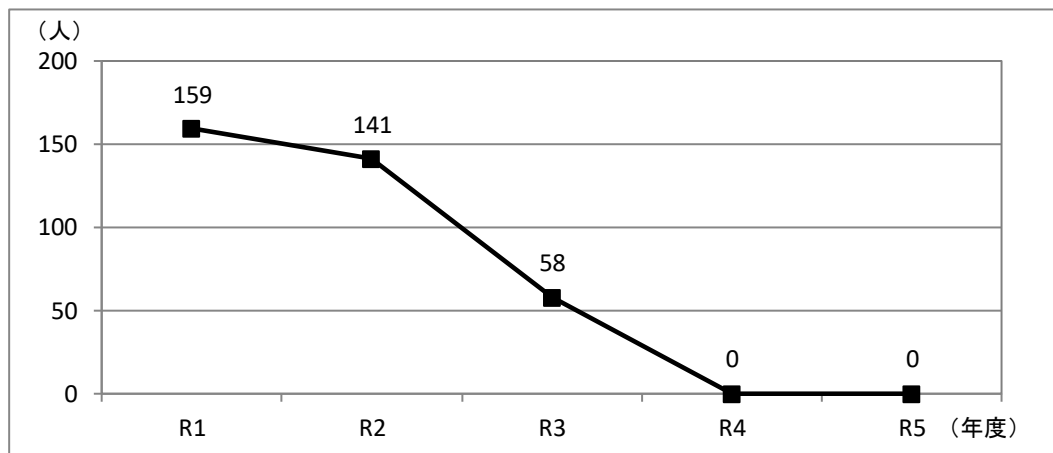


資料:宝塚市(各年度 10 月 1 日現在)

※数値は公立保育所と私立保育所の合計

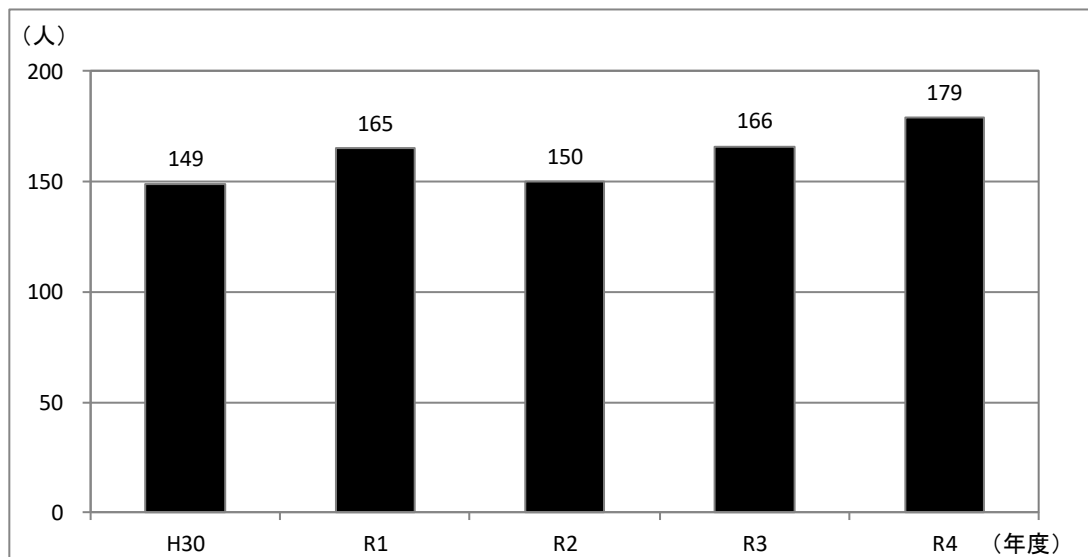
- 保育所の待機児童数は、令和 4 年度以降 0 人となっています。
- 保育所の特別支援児の受け入れ人数は、概ね増加傾向にあります。

◆保育所の待機児童の推移◆



資料:兵庫県「各年度4月1日時点における待機児童数」

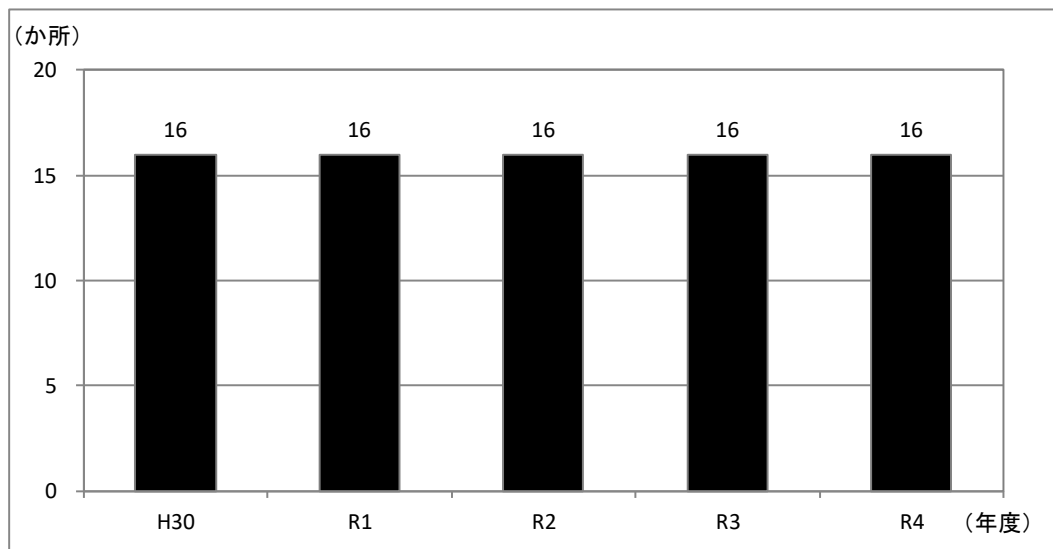
◆保育所の特別支援児の受け入れ人数の推移◆



資料:宝塚市(各年度 4 月 1 日現在)

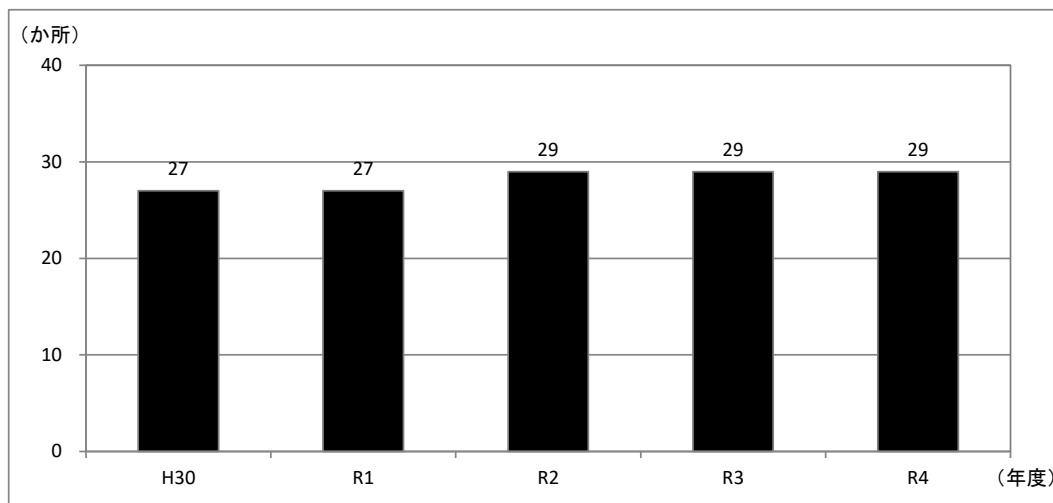
- 一時預かり保育実施か所数は、横ばいで推移しています。
- 延長保育実施か所数は、令和 2 年度以降横ばいで推移しています。

◆一時預かり保育実施か所数の推移◆



資料：宝塚市(各年度 3 月末現在)

◆延長保育実施か所数の推移◆

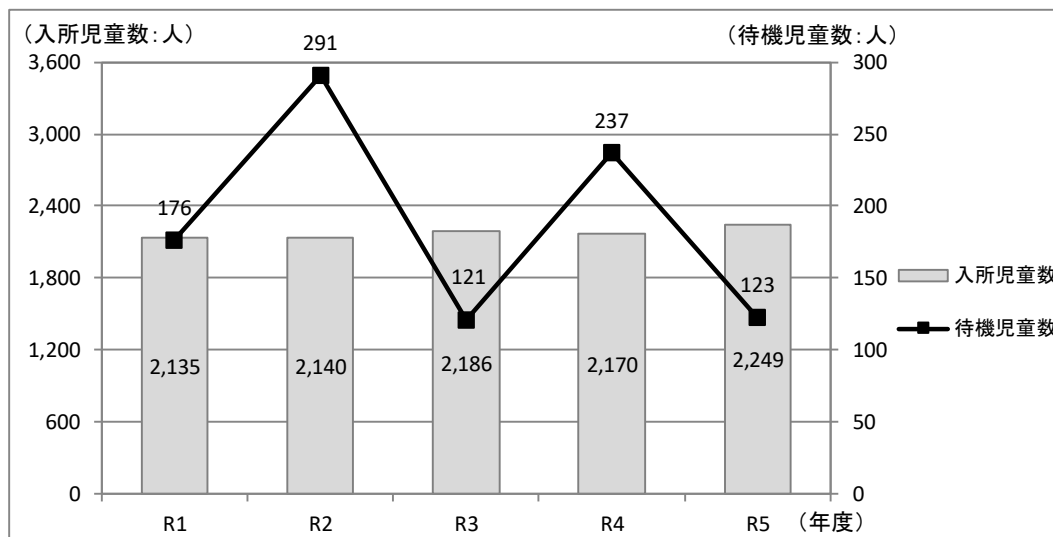


資料：宝塚市(各年度 3 月末現在)

②放課後児童クラブ・児童館

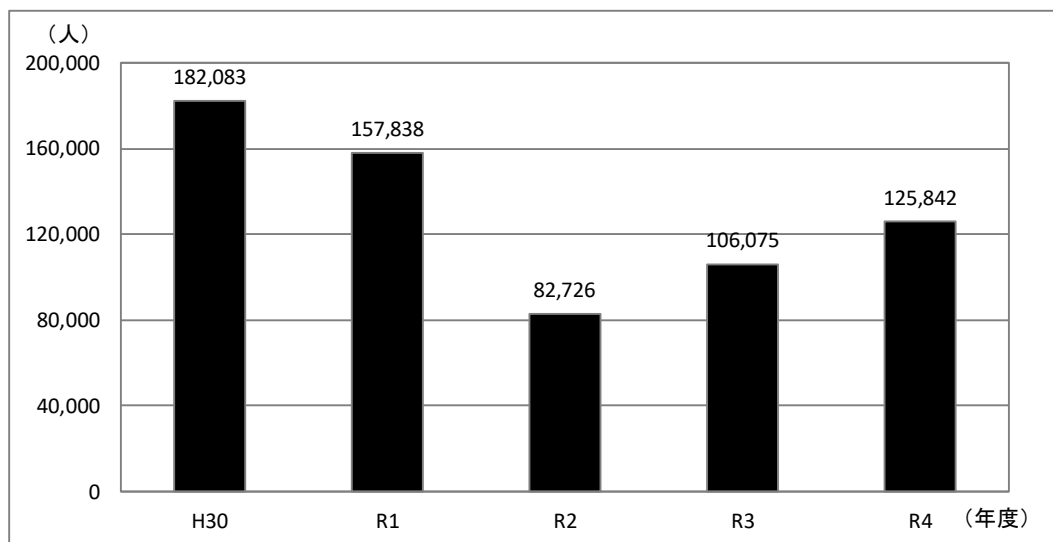
- 放課後児童クラブの入所児童数は、概ね微増で推移しており、待機児童数は年度によって増減があります。
- 児童館延べ利用者数(出前児童館含む)は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和 2 年度まで減少していましたが、令和 3 年度から回復がみられます。

◆放課後児童クラブの入所児童数及び待機児童数の推移◆



資料:宝塚市(各年度 4 月 1 日現在)

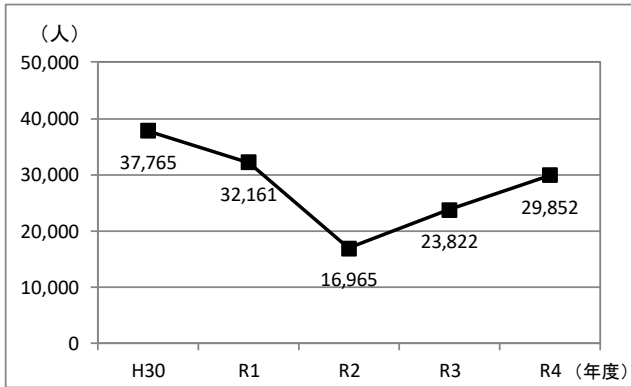
◆児童館延べ利用者数(出前児童館含む)の推移◆



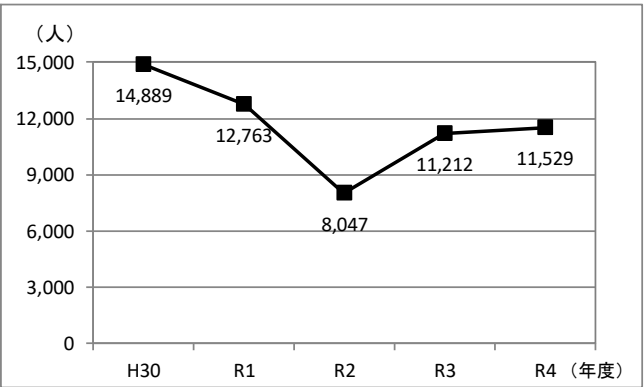
資料:宝塚市(各年度 3 月末現在)

◆児童館別利用者数の推移◆

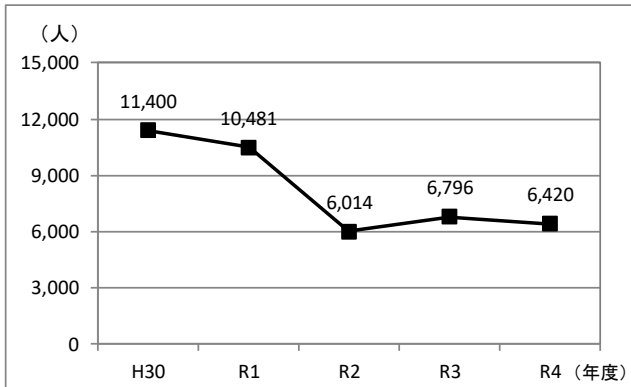
大型児童センター



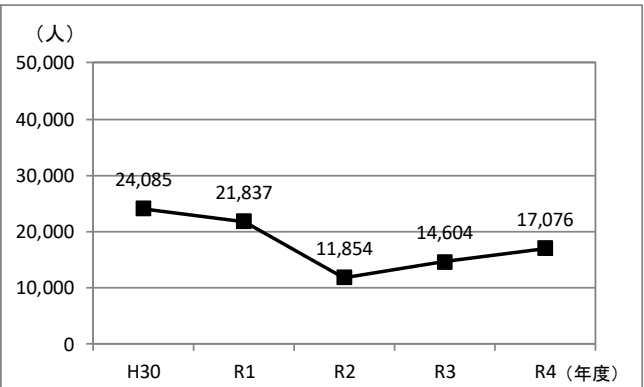
高司児童館



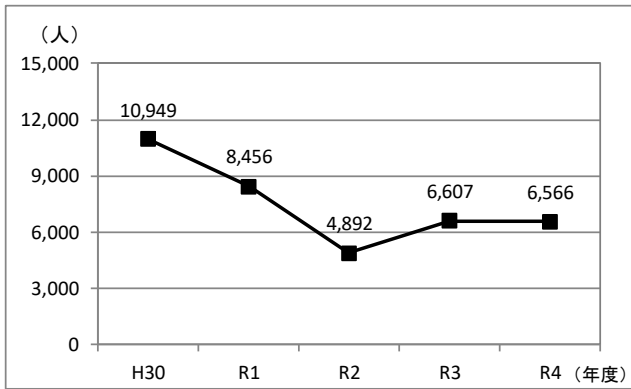
野上児童館



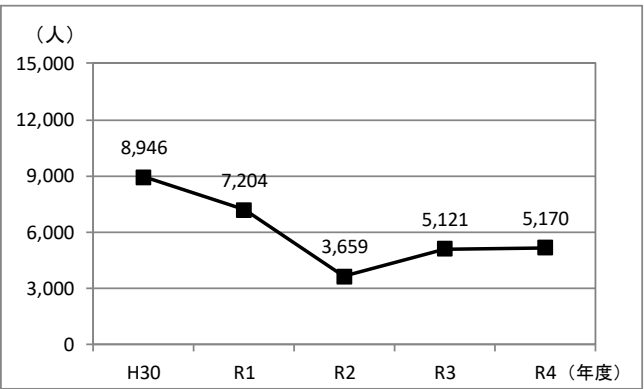
御殿山児童館



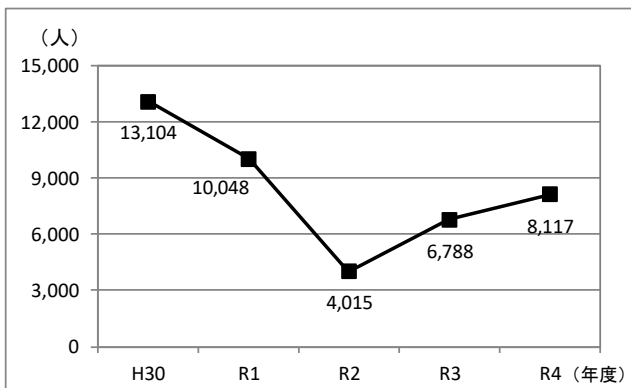
安倉児童館



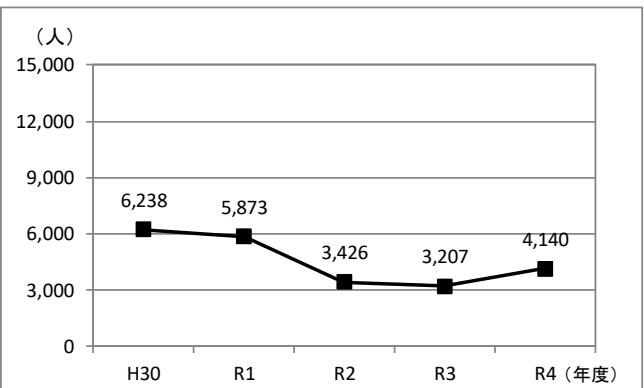
中筋児童館



子ども館



西谷児童館

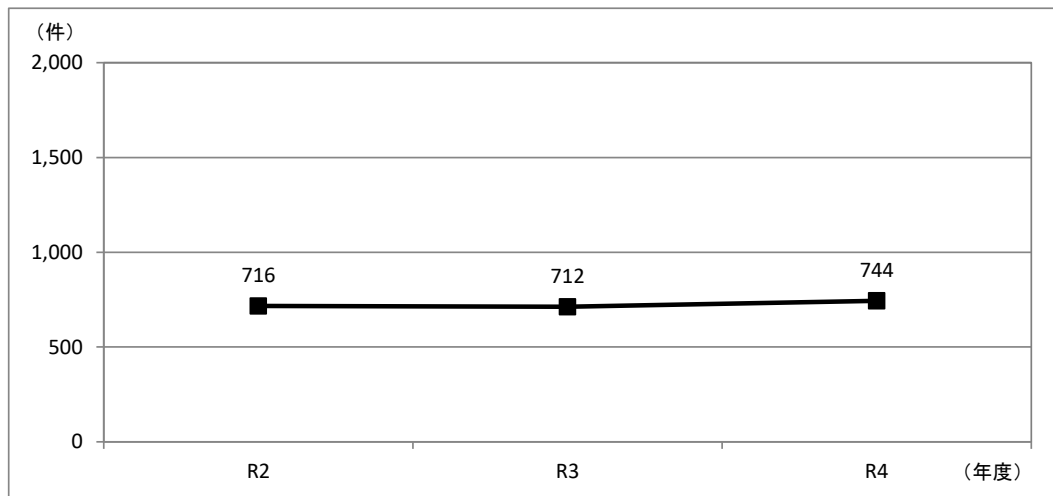


資料:宝塚市(各年度 3 月末現在)

③児童虐待

- 児童虐待新規通告件数は、増加傾向にあります。

◆児童虐待新規通告件数の推移◆

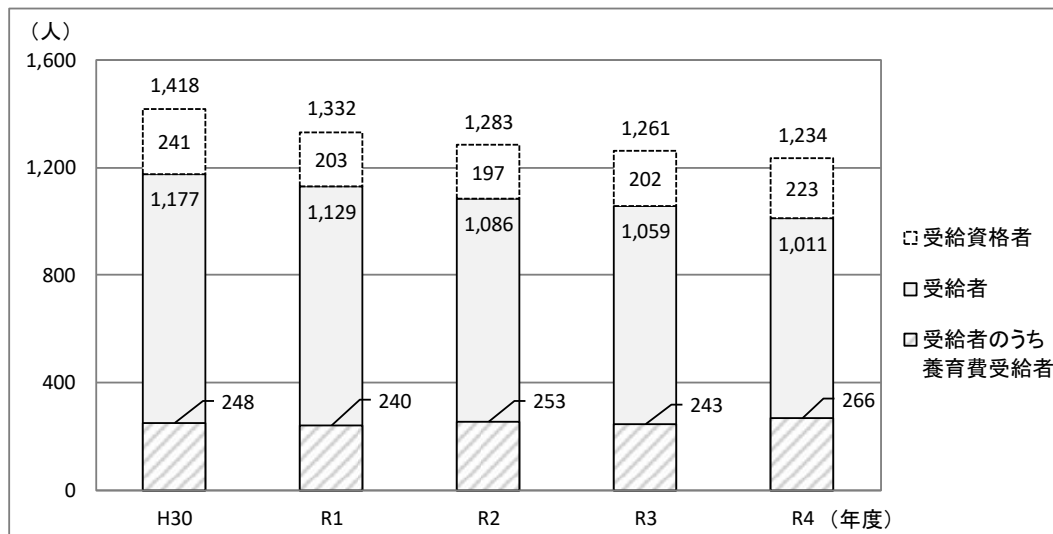


資料:宝塚市(各年度 3 月末現在)

④児童扶養手当

- 児童扶養手当受給者数は減少傾向にあります。

◆児童扶養手当受給者数の推移◆



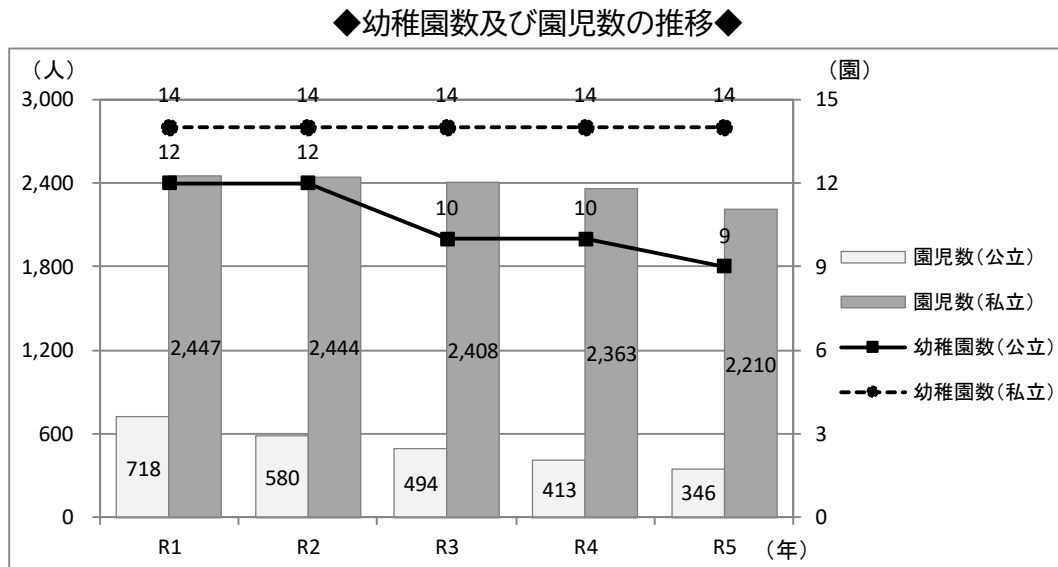
資料:宝塚市(各年度 3 月末現在)

※受給資格者:ひとり親として認定されているが、所得制限の関係で受給していない人

(8)学校

①幼稚園

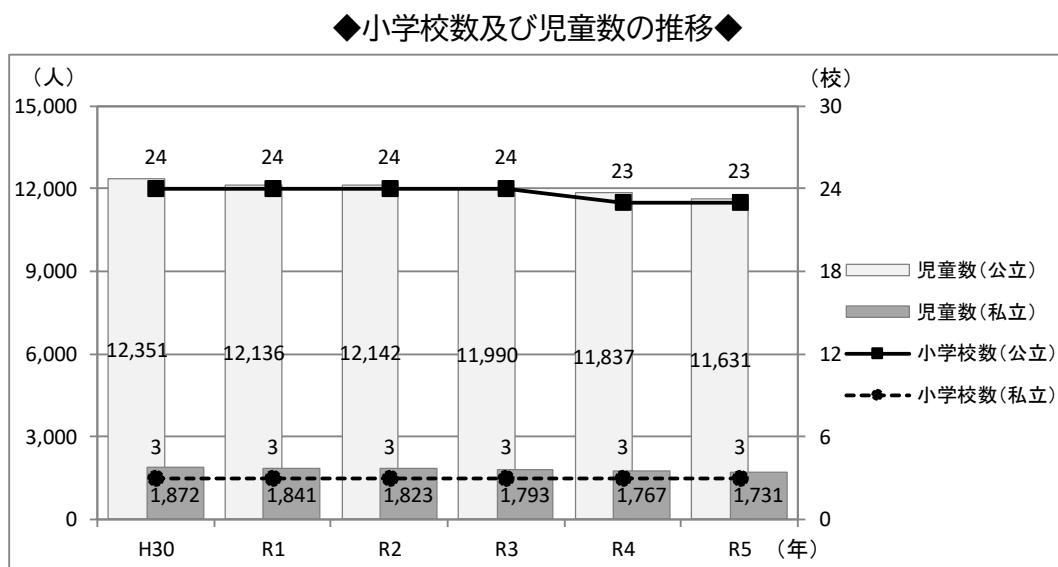
- 令和 5 年の幼稚園数は、公立が 9 園、私立が 14 園となっており、園児数は公立、私立ともに減少傾向にあります。



資料：兵庫県「学校基本調査結果」(各年 5 月 1 日現在)

②小学校

- 令和 5 年の小学校数は、公立が 23 校、私立が 3 校となっており、児童数は公立、私立ともに概ね減少傾向にあります。

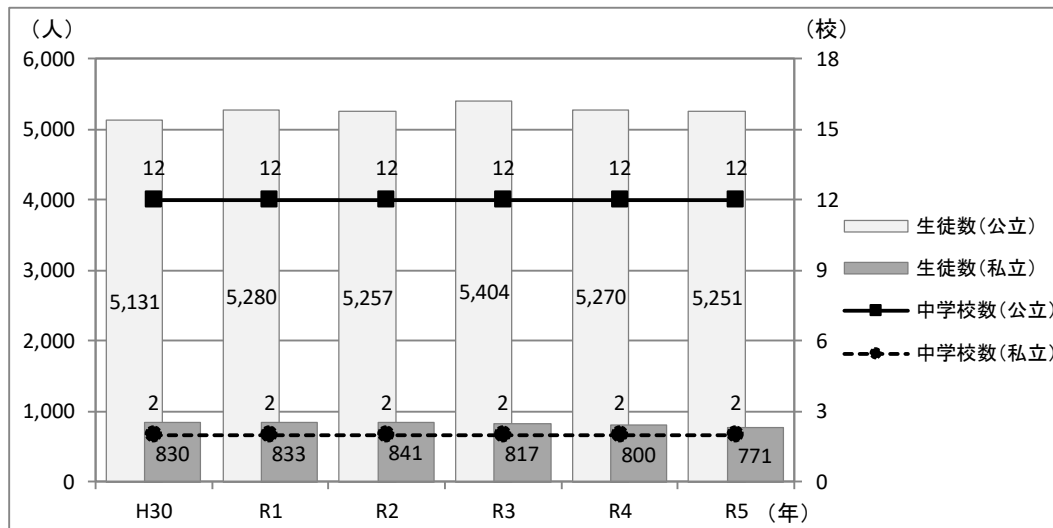


資料：兵庫県「学校基本調査結果」(各年 5 月 1 日現在)

③中学校

- 令和 5 年の中学校数は、公立が 12 校、私立が 2 校となっており、公立の生徒数は令和 4 年から減少に転じています。

◆中学校数及び生徒数の推移◆

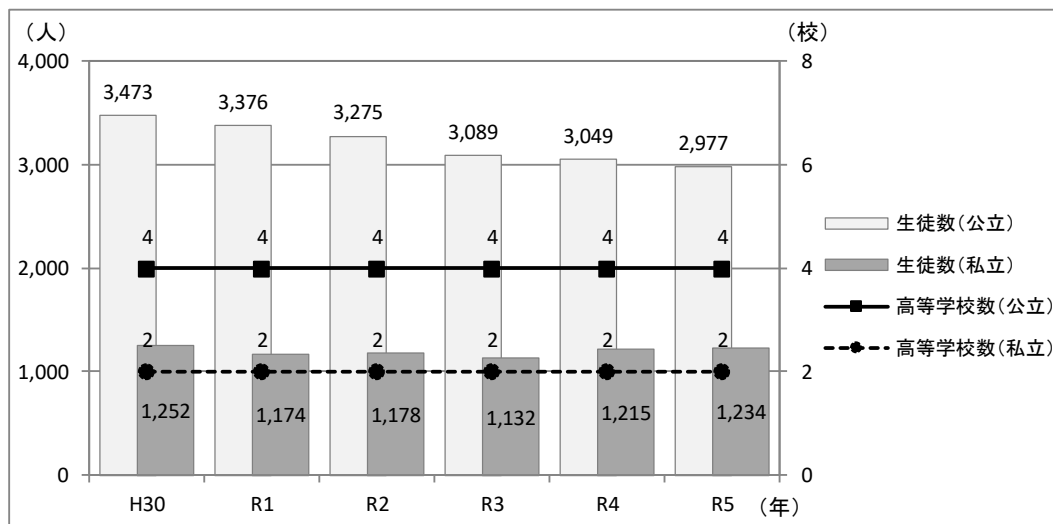


資料：兵庫県「学校基本調査結果」(各年 5 月 1 日現在)

④高等学校

- 令和 5 年の高等学校数は、公立が 4 校、私立が 2 校となっており、公立の生徒数は減少傾向にあります。

◆高等学校数及び生徒数の推移◆

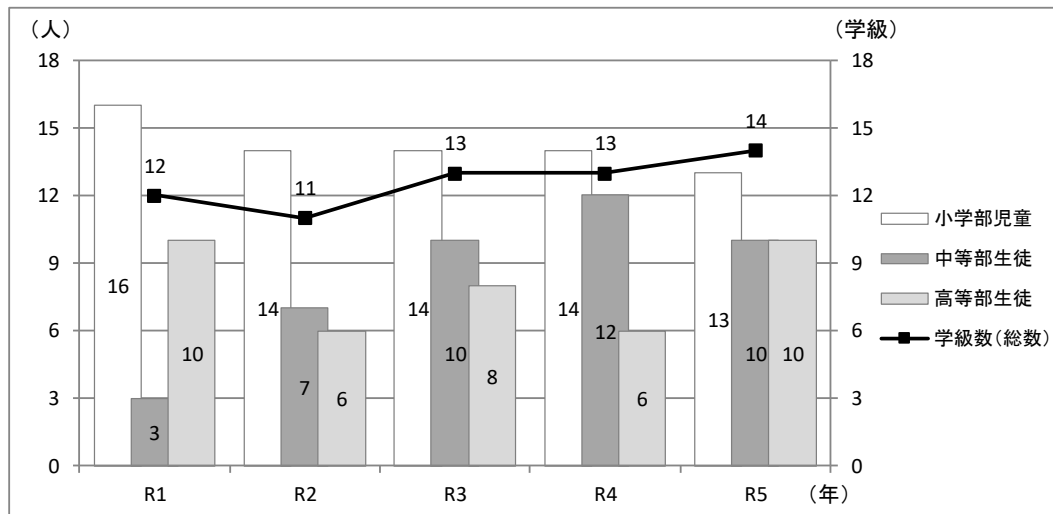


資料：兵庫県「学校基本調査結果」(各年 5 月 1 日現在)

⑤特別支援学校

- 令和 5 年の特別支援学校の学級数は 14 学級で、小学部児童数は 13 人、中部部生徒数は 10 人、高等部生徒数は 10 人となっています。

◆特別支援学校の学級数と児童・生徒数の推移◆

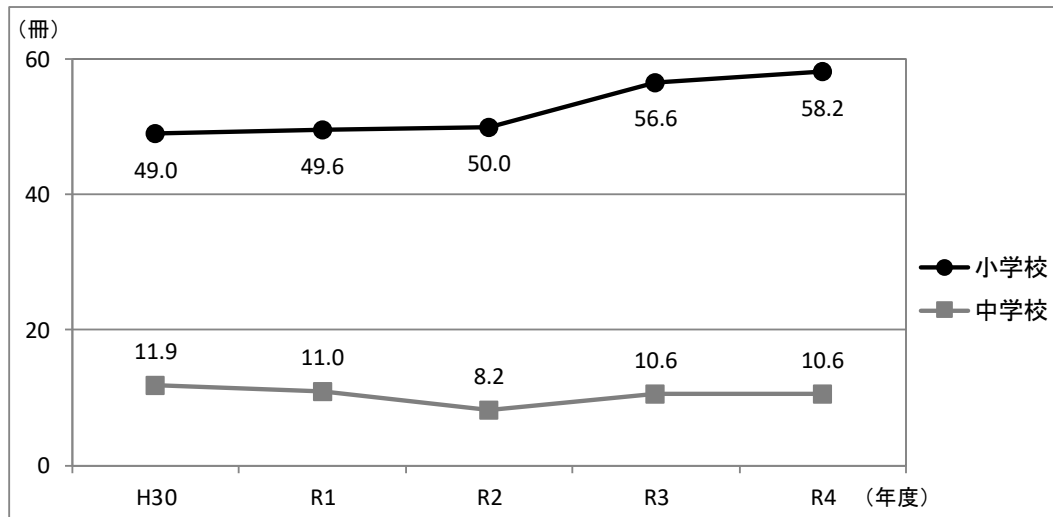


資料:兵庫県「学校基本調査結果」(各年 5 月 1 日現在)

⑥学校図書館

- 学校図書館における児童・生徒一人あたりの年間貸出冊数は、小学校は増加傾向にあります。一方、中学校は 10 冊前後で推移しています。

◆学校図書館における児童・生徒一人あたりの年間貸出冊数の推移◆

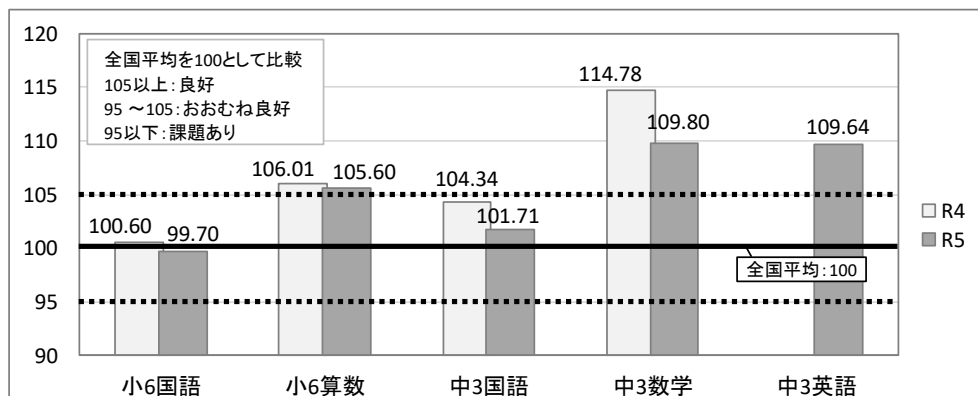


資料:宝塚市(各年度 3 月末現在)

⑦全国学力・学習状況調査

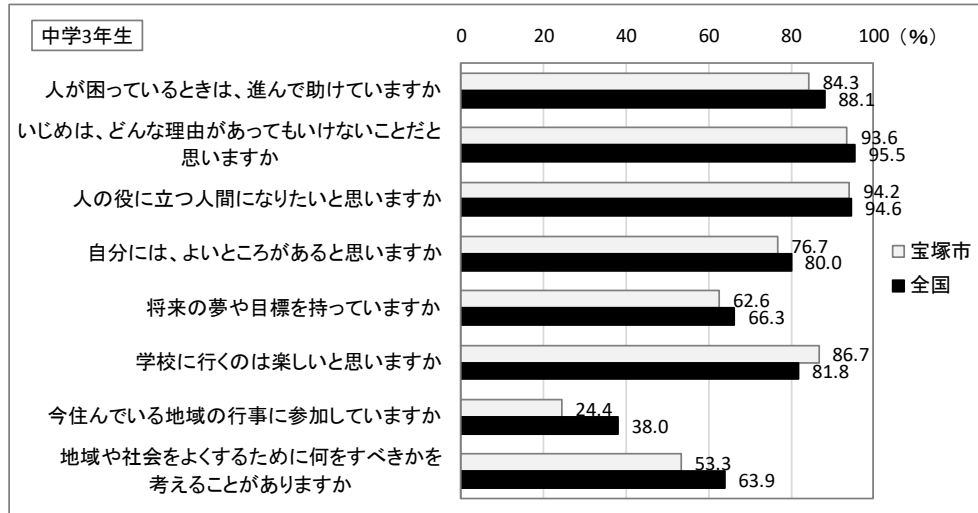
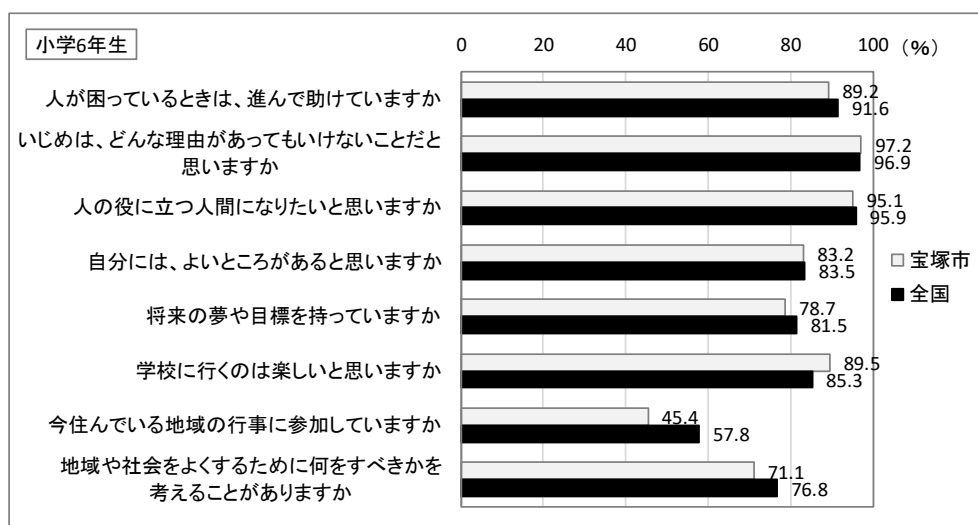
- 全国学力・学習状況調査によると、小 6 では算数が全国平均を上回り、中 3 では国語、数学、英語のすべての教科で全国平均を上回っています。特に中 3 の数学で大きく上回っています。
- 規範意識・自己有用感等について、小 6、中 3 とともに「学校に行くのは楽しいと思いますか」が全国を上回っています。一方で「自分には、よいところがあると思いますか」、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」等は全国平均を下回っています。

◆教科に関する調査結果◆



資料:宝塚市教育委員会「令和 5 年度(2023 年度)全国学力・学習状況調査 宝塚市の結果概要」

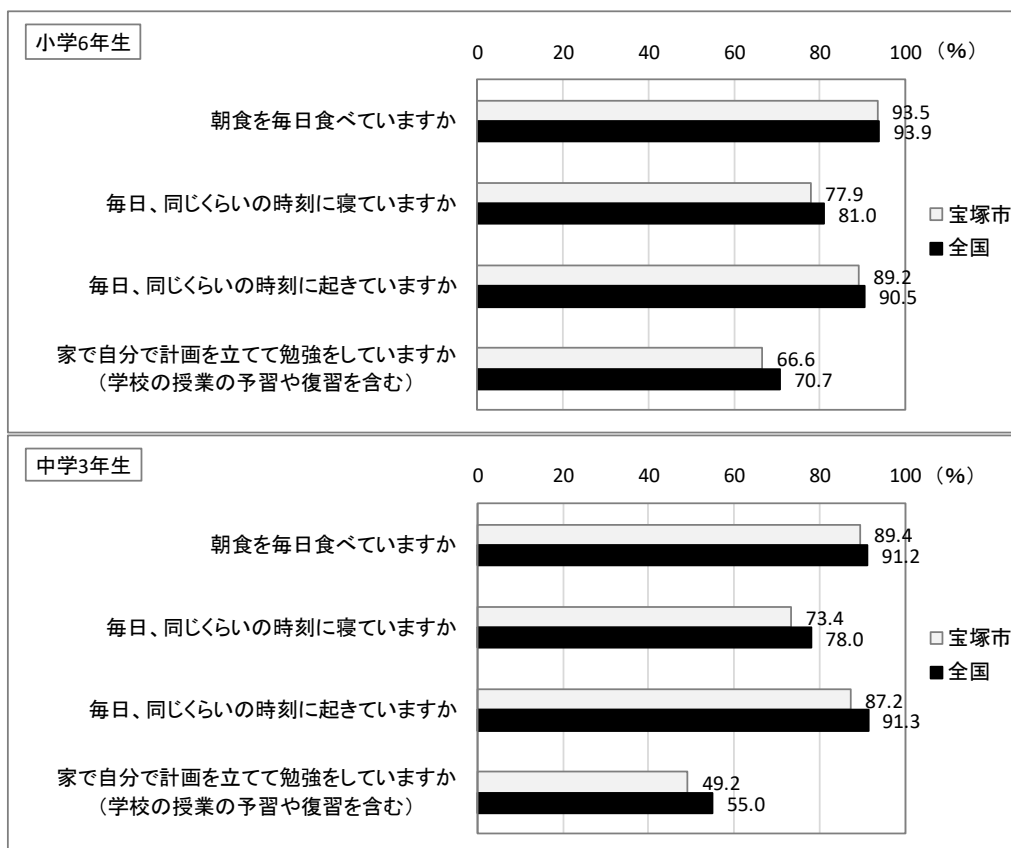
◆規範意識・自己有用感等◆



資料:宝塚市教育委員会「令和 5 年度(2023 年度)全国学力・学習状況調査 宝塚市の結果概要」

- 生活習慣・学習習慣に関する質問について、全般的に小 6、中 3 とともに、全国平均を下回っています。

◆生活習慣・学習習慣◆

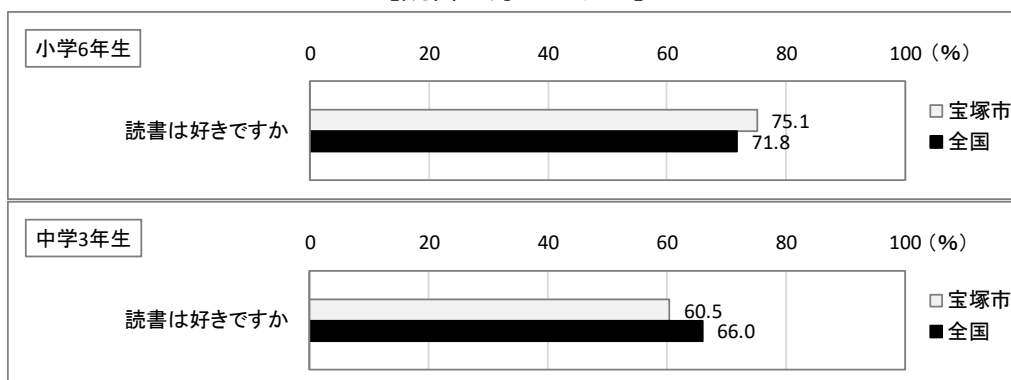


資料:宝塚市教育委員会「令和 5 年度(2023 年度)全国学力・学習状況調査 宝塚市の結果概要」

- 読書への関心等について、「読書は好きですか」は小 6 で全国平均を上回り、中 3 で全国平均を下回っています。

◆読書への関心等◆

【読書は好きですか】

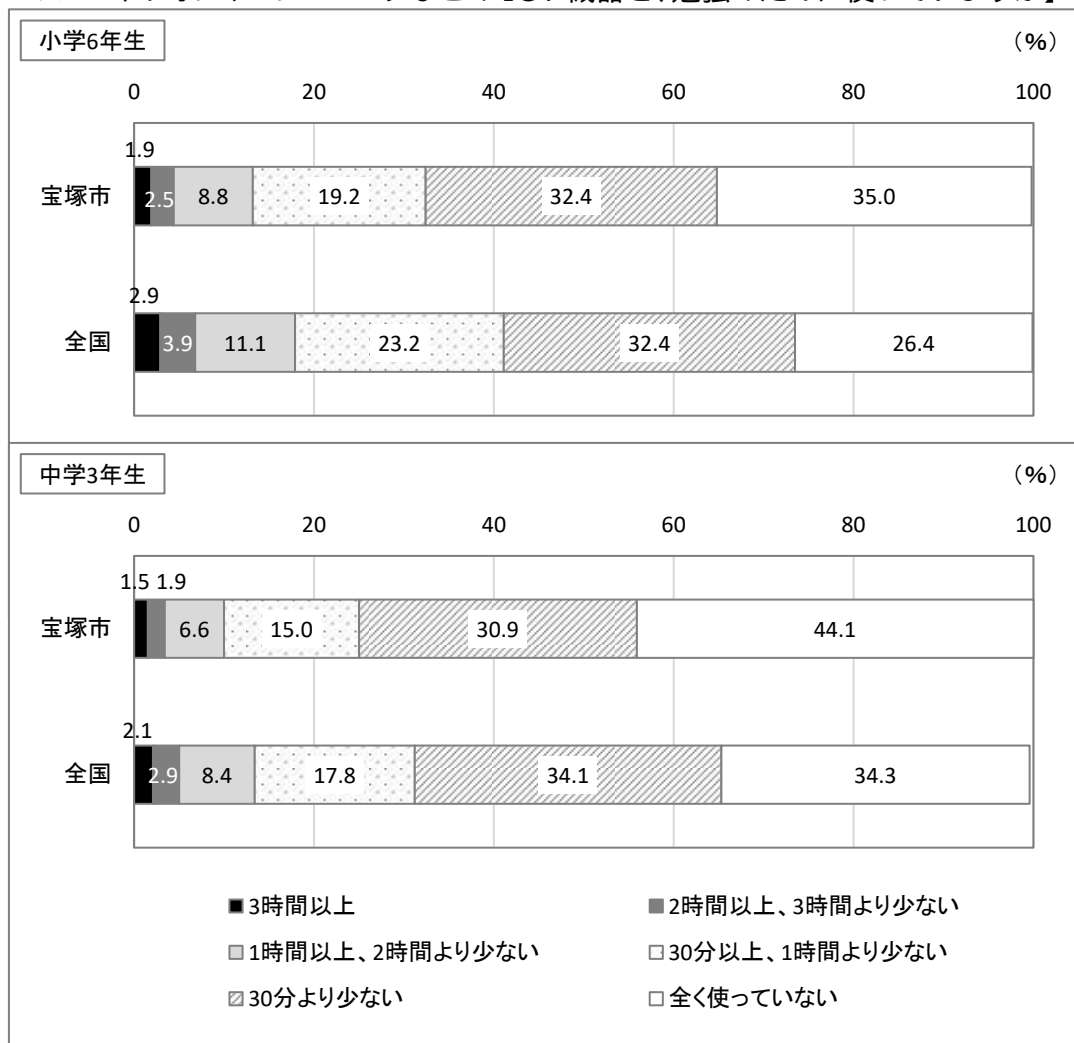


資料:宝塚市教育委員会「令和 5 年度(2023 年度)全国学力・学習状況調査 宝塚市の結果概要」

- 「学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1 日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか」では、小 6、中 3 とともに 30 分以上する人の率は全国平均を下回っています。

◆ICT を用いた学習時間等◆

【学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1 日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか】

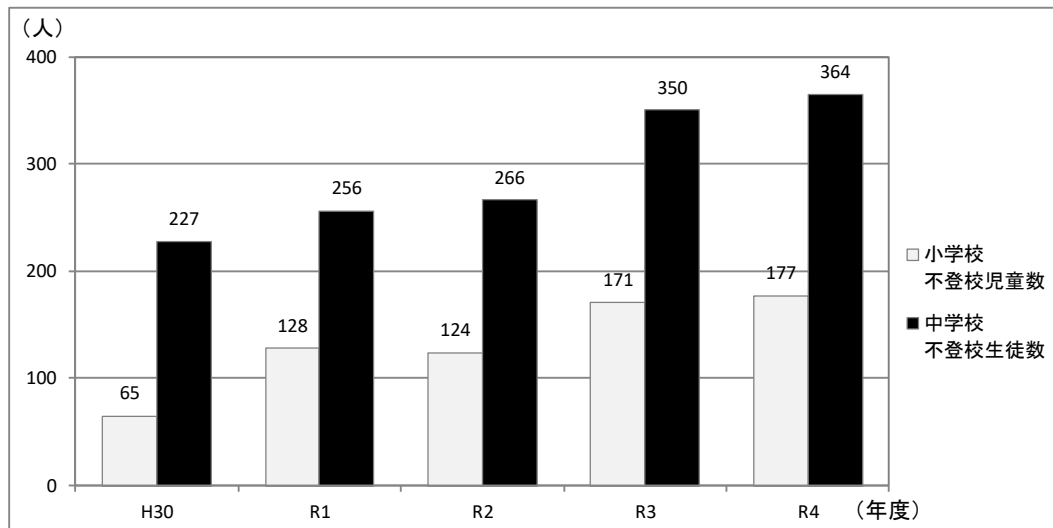


資料:宝塚市教育委員会「令和 5 年度(2023 年度)全国学力・学習状況調査 宝塚市の結果概要」

⑧不登校・いじめ

- 不登校児童・生徒数は、小学校、中学校ともに増加傾向にあります。
- いじめの認知件数は、小学校では横ばい、中学校では減少傾向にあります。

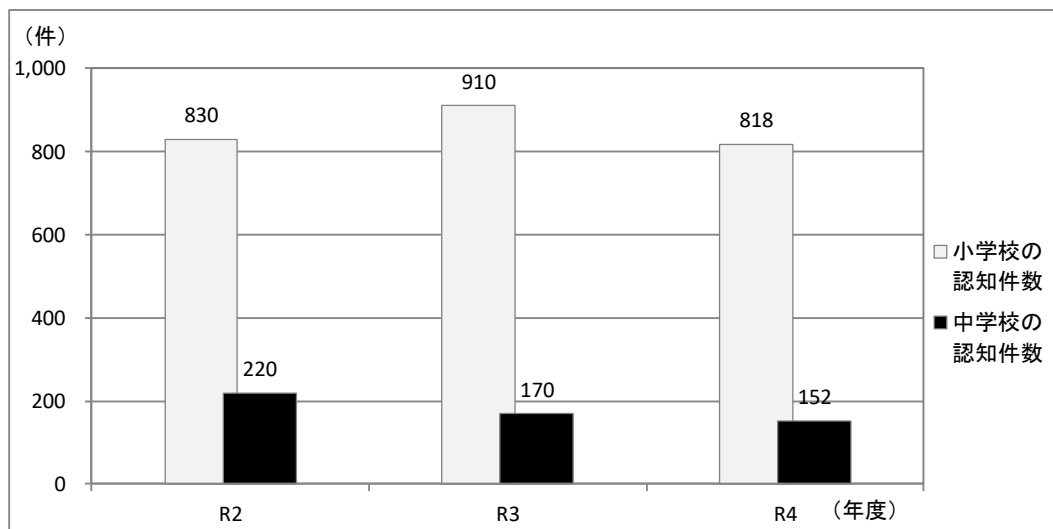
◆小中学校の不登校児童・生徒数の推移◆



資料：宝塚市(各年度 3 月末現在)

※不登校児童、不登校生徒：「不登校」を理由として、年間 30 日以上欠席した児童、生徒。

◆小中学校のいじめの認知件数の推移◆



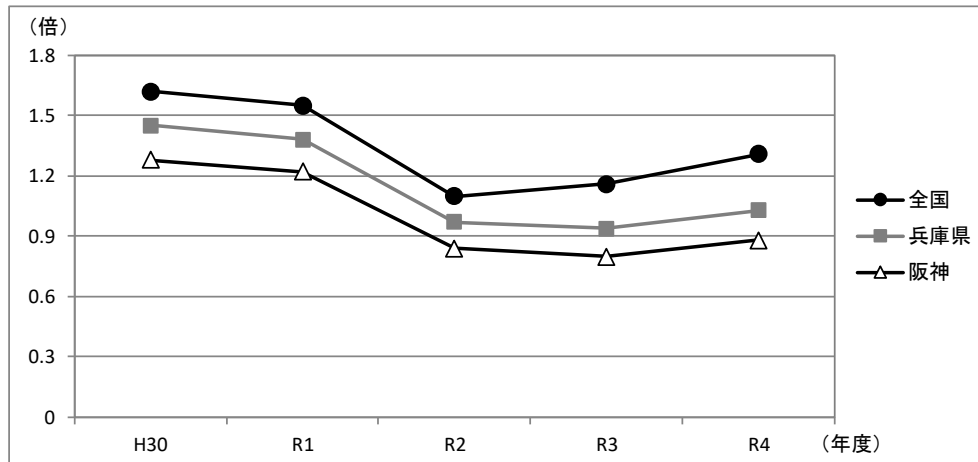
資料：宝塚市(各年度 3 月末現在)

(9)雇用・勤労

①雇用

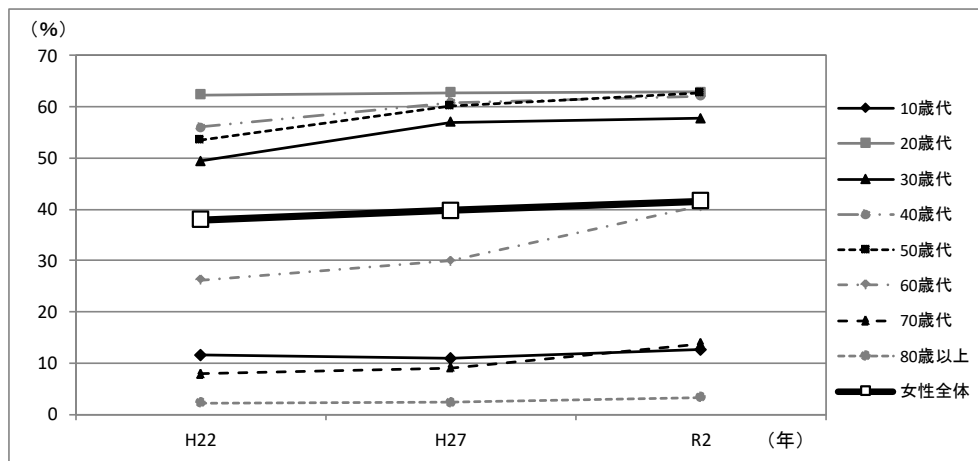
- 阪神地域の有効求人倍率は、全国や兵庫県と比べ、低い傾向にあります。
- 女性の就業率は、女性全体では微増となっており、50歳代から70歳代で特に増加しています。

◆有効求人倍率の推移◆



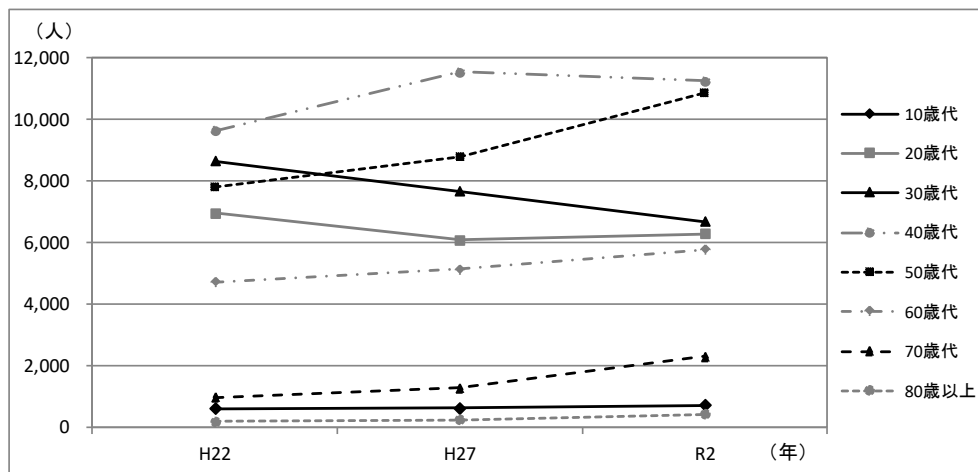
資料:兵庫県「兵庫県の経済・雇用情勢(令和5年7月)」

◆年齢階級別女性就業率の推移◆



資料:国勢調査(各年10月1日現在)

◆15歳以上女性就業人口の推移◆

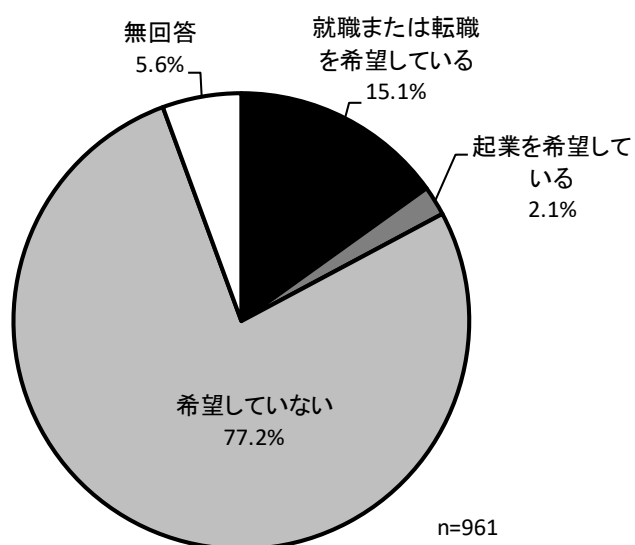


資料:国勢調査(各年10月1日現在)

②就労・起業のサポート状況

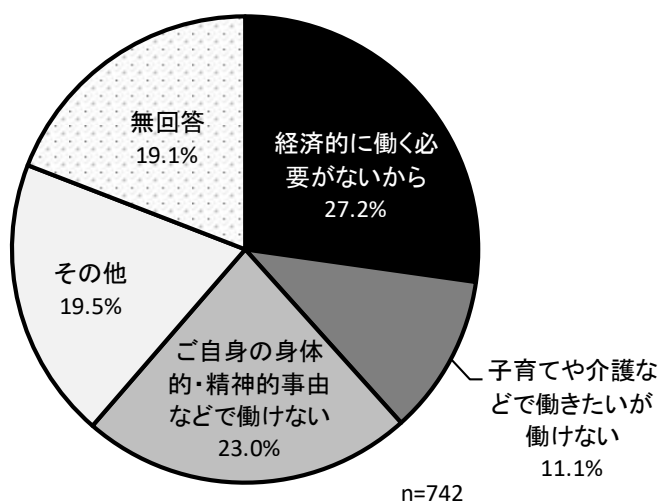
- 現在勤務・就業していない人のうち、就職・起業を希望していない人が 7 割を超えています。
- 現在勤務・就業しておらず、就職・起業を希望していない理由では、「経済的に働く必要がないから」が最も多く、「ご自身の身体的・精神的事由などで働けない」が続いています。

◆現在勤務・就業していない人で、就職・起業を希望する人の割合◆



資料：宝塚市「令和元年度(2019 年度)宝塚市労働実態調査報告書」

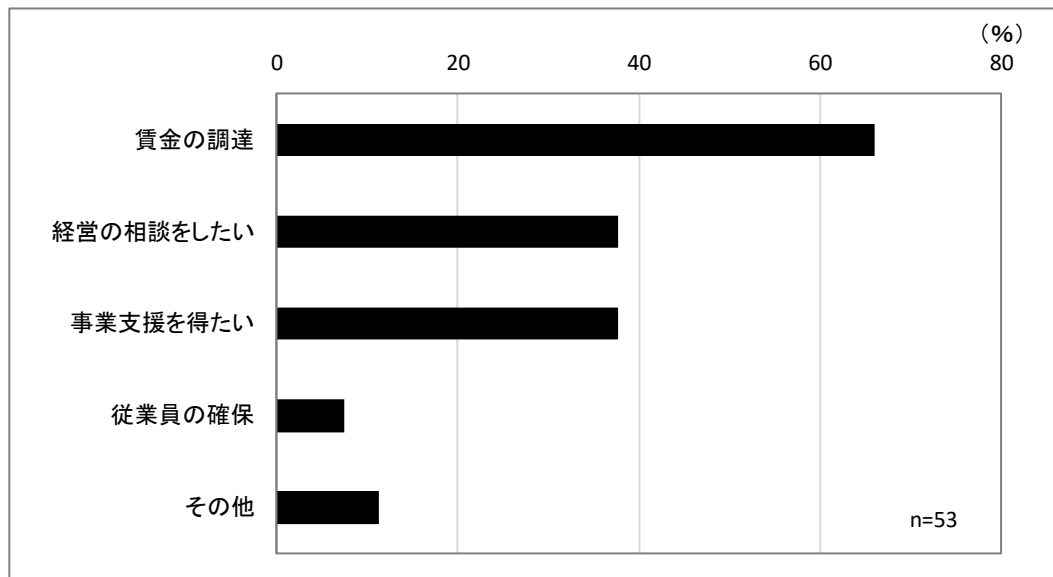
◆現在勤務・就業しておらず、就職・起業を希望していない理由◆



資料：宝塚市「令和元年度(2019 年度)宝塚市労働実態調査報告書」

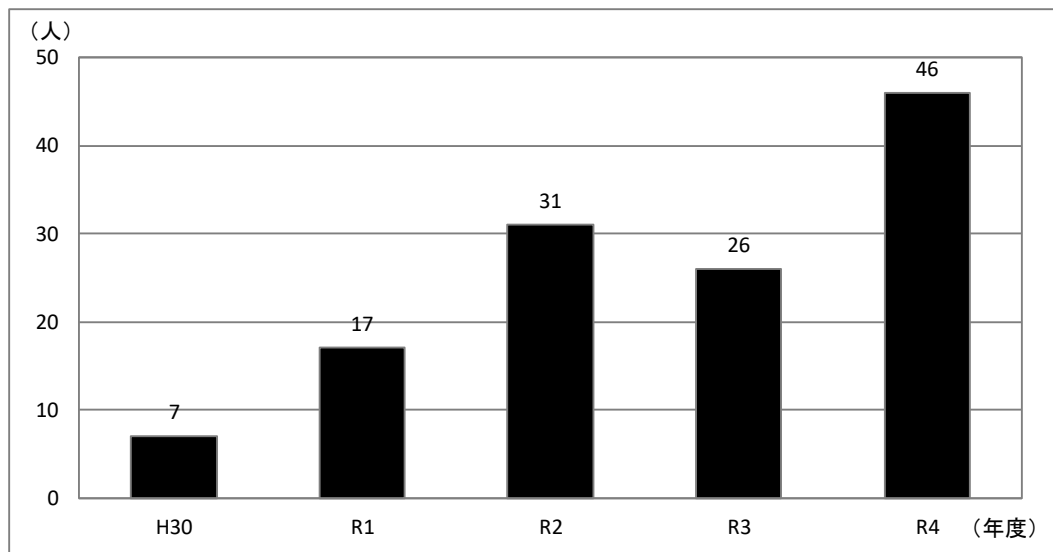
- 起業にあたって重視する支援施策では、「賃金の調達」が 6 割を超え、最も多くなっています。
- 商工会議所等の起業支援を受けた人のうち起業した事業者数は、概ね増加傾向にあります。

◆起業にあたって重視する支援施策◆



資料：宝塚市「令和元年度（2019 年度）宝塚市労働実態調査報告書」

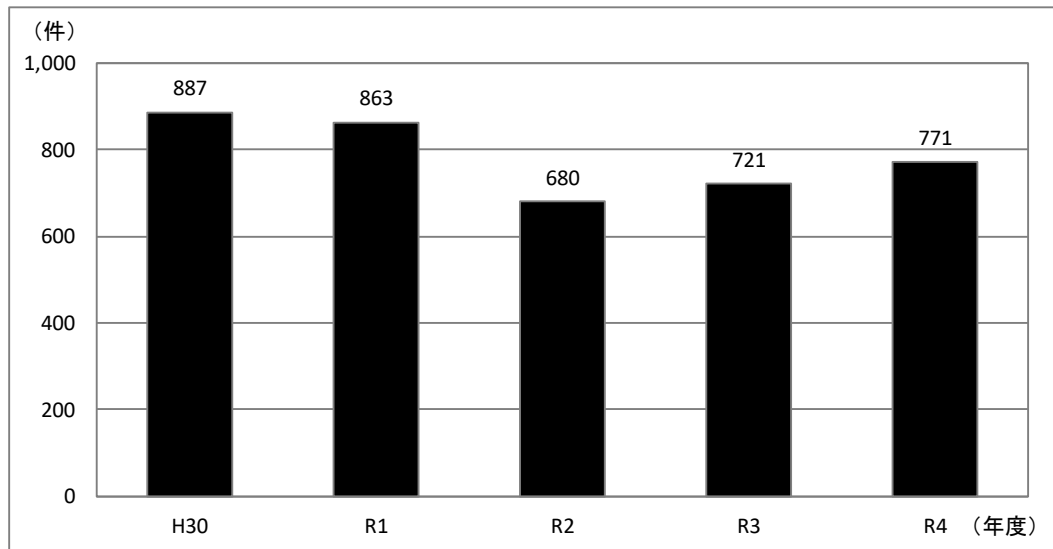
◆商工会議所及び市の認定する施設により支援を受け、起業した事業者数の推移◆



資料：宝塚市（各年度 3 月末現在）

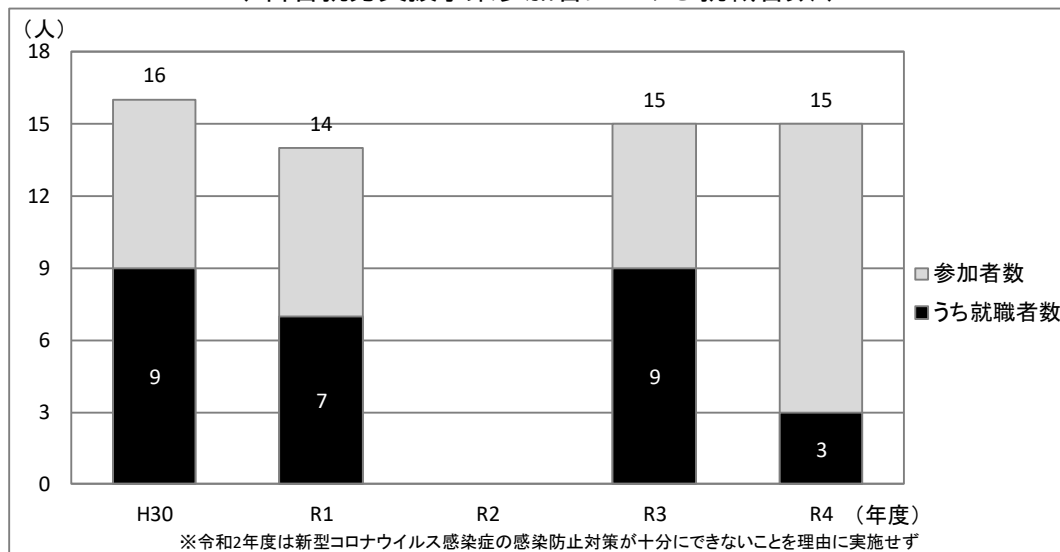
- ワークサポート宝塚の就職件数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和 2 年度までは大幅に減少しましたが、令和 3 年度以降はわずかに増加しています。
- 令和 4 年度の若者就労支援事業の参加者数は 15 人で、うち 3 人が就職しています。

◆ワークサポート宝塚の就職件数の推移◆



資料：宝塚市(各年度 3 月末現在)

◆若者就労支援事業参加者における就職者数◆



資料：宝塚市(各年度 3 月末現在)